京城日報

本紙定價 一箇月金壹圓 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
印刷人 小川三[illegible]
電話番號 [illegible]

朝鮮の交通問題(五)

殖産鐵道常務 賀田直治

更に歩を進めて朝鮮の國防警備の發達は鐵道の普及に待たざるべからざることは衆論一致する所なり鐵道の急務は實に朝鮮統治上の重要事項にして必ずや之を國策的に解決せざるべからざるものと信す。

假に目下計畫未設の咸鏡線(二二六哩九)並平元線(一三二哩八)及私設鐵道線千六百餘哩が全部完成するとしても總延長

國有本線 千五百十八哩
私設鐵道線 千九百哩

合計三千四百十八哩に過ぎず之を内地の鐵道の利便を具有して鐵道約一萬哩なるに比し其鐵道普及の劣れるは素より論を待たず更に歩武を進めて之を世界の鐵道状態に比し朝鮮か如何に未發の状態に在るかを諒知すべしと信す

左に世界の鐵道統計を掲示せん

世界鐵道數と哩數

國名	線路總哩數	調査年
亞爾然丁	二三、六八八	一九一六
濠太剌利亞	二三、二六三	一九一五
墺洪國	二九、三二八	一九一四
白耳義	五、四五一	一九一四
伯剌西爾	一六、二九四	一九一六
加奈陀	三五、五八二	[illegible]
智利	五、〇一五	一九一五
支那	六、四六七	一九一六
丁抹	二、四五五	一九一五
埃及	四、三八一	一九一六
佛蘭西	三一、九五八	一九一四
獨逸	三九、六〇〇	一九一四
印度	三五、八三三	一九一六
伊太利	一一、六三五	一九一六
日本	九、五六一	一九一七
墨西哥	一六、〇八八	一九一三
和蘭	二、〇七五	一九一五
新西蘭	二、九八九	一九一六
諾威	一、九七三	一九一六
秘露	一、八〇〇	一九一五
羅馬尼	二、三八二	一九一四
露西亞	四八、九五五	[illegible]
西班牙	九、三七七	一九一四
瑞典	九、二二八	[illegible]
瑞西	三、五七一	一九一六
土耳古	四、五七六	一九一四
南阿聯邦	八、九八六	一九一五
英吉利	二三、七〇一	一九一五
北米合衆國	二六五、二一八	一九一七
其他	三六、一二〇	

備考 朝鮮面積は八四、〇三一方哩にして宛かも日本本州(鐵道六〇二八哩七)に均しく尚ほ朝鮮と略同面積なる瑞典(七二九〇〇方哩)西班牙(九六七〇〇方哩)と比し朝鮮の鐵道延長は其の三分の一に過きす

以上の如く朝鮮鐵道は猶未發にして滿洲方面と連絡し地方鐵道網の發達を謀ることも急務中の急務にして地方に恩被することも鐵道に勝るものなく地方民は齊しく之か開通を希望しつゝあり實に鐵道事業は内鮮融和の基礎なりと信す尚又鐵道か敷設せらるれば沿線産業状態も改新増殖を致し人口も増加し都邑も發達し農業の外工業礦業の進歩を促進し相聯關して始めて實力充實せる朝鮮を形成すべく鐵道開發の急務は實に國策中の最重の策にして朝鮮統治の第一義なりと論斷す

結論

朝鮮交通問題は朝鮮統治並産業開發の基本事業にして最も先決を要する所以は叙上詳説する所の如し而して各交通機關は相連絡共働して其の効用を發揮すべきものにして就中鐵道の急務なることは萬民の一致する所に屬す政府は此際朝鮮交通事業に對し特に一大盡力を要するのみならず内鮮民衆の協力も之に加はり徹底的振興を期せざるへからざるの重要時機なりと信す。

煙草專賣と葉煙草

大正十年度から朝鮮煙草專賣が施行せらるゝと云ふ事は先づ動かぬものと見るが至當であろうそこで今此の專賣實施に最も重大な關係を有し極めて密接な關係に在る葉煙草の價格はどう云ふ趨勢で有らうか

作付側の云ひ分は今年の作柄は九分作位で有り煙草を喫むものも特に減つた譯でもない又製造煙草の値段は少しも下落して居らぬでないかそれに獨り葉煙草の値段が暴落すると云ふ様な事は信ぜられないと云うて未だ〳〵前年の

高値時代

を豫想し頑な事ばかり主張してゐる向きも有る、又仲買人でも内には底く世間の事情に通ぜぬ爲め今後の價格がどうかと云ふ事は分からぬが兎に角内地に於て專賣實施の際に政府が相當有利に買上げたる例が有るので當るも八卦當らぬも八卦と云ふ樣な調子で思惑をする連中もないではないが併し少しく多くの耕作もし世の中の事情を多少知つて居るものは段々世間の樣子も判り思ふた樣な値段でなくとも

早く賣拔

けて金を取つた方がよいと段々考へるもの多くなる樣である併し今其消息通の談に依れば京城丈けでも約百萬貫の昨年産持越品が有る夫れに今年の生産品に自家用の分を加ふれば少くとも五百萬貫以上に達する樣である、然るに專賣が實施せられても其の三分の一もいらないであらう、夫れに隣邦支那滿洲地方は銀相場が減法に下落して居ると金融が梗塞して居るので同地産のものは非常に安いから朝鮮葉との價格は到底釣合が採れぬ夫れに最近米國市場なども一般の不況と相俟つて葉價も非常な下落であり從つて目下朝鮮より輸出することなどは

當分見込

は立たぬ樣である、おまけに穀價は前年よりも見れば約三分の一に暴落して居るから一般も煙草の買入は此割合位でなければ到底手を出さぬであらう斯樣な情態で有るから今後葉煙草の價格は未だ〳〵漸落の趨勢を辿り容易に買手もないであらうとの事である

侯鯖錄(五)

南籬陳人

酒

支那には酒德を讃した文章詩賦數限りもなくあるが、何といつても劉伯倫の酒德頌は天下一品である。伯倫名は伶、所謂竹林七賢の一人である、晉書の列傳に『情を[illegible]し志を[illegible]し萬物を齊うす…常に鹿車(小車)に乘り、一壺の酒を携へ、人をして鍤を荷なつて之に隨はしむ、いふ死せば即ち我を埋めよと、其の形骸を忘る、此の如し』とある。或時例に依つて酒を妻に求めると、妻は其のノンダレン坊に呆れて居るので、酒を捐て器を毀ち、涙ながらに、あなたの樣に酒を飲んでは生命が危い、どうか禁酒して下さいと諫めた伯倫成る程尤もだが、俺はとても自身で禁酒することができないから、神に願をかけて誓ふことにせる、先つ酒と肉とを御供へせよといつた。妻は其通りにすると伯倫は机の前に跪き祈つていふ『天劉伶を生じ酒を以て名を爲さしむ、一飲一斛、五斗醒を解く、婦人の言は愼みて聽くべからず』と仍で酒を引き肉を食み隗然として又醉うたことである。之に似た話が、策者の生れ故郷に[illegible]野蠻貫と云ふ醫師があつた、朝から晩迄酒の氣を絶やさぬといふ豪傑だつた、醉うて屢々失策を演するので、細君に迫られて遂に禁酒の一札を書かされた、が先生翌日から相變らずグデン〳〵、細君青筋を顔に出して之を詰ると、先生一向平氣で、俺はそんなものを書いた覺えがないといふ、合憎妻君は文字を知らないので、藥局の書生を呼び件の一札を讀ませると、文にいふ『天智天皇秋の田のかりほの……』細君啞然として『マア何』といつたきり、二の句がつけなかつた、それからといふものはモウあきらめて、小言をいはなくなつた。

朝鮮語辭典の發賣に際して

小田幹治郎

(承前)

朝鮮語は文字の上から區別をすれば漢字で書くものと、諺文で書くものと、漢字と諺文とで書くものとがあつて、漢字で書くものゝ中には漢字の發音の儘言葉となつて居るものと、吏讀と稱して在來の言葉に漢字を當たものとがある漢字は朝鮮には古くから渡つて居るのみでなく、漢字に依つて支那の言葉が朝鮮の言葉になつたものが極めて多いのである。其れが今日でも漢字の發音の儘用ひられて居る朝鮮語であつて、其の發音は日本で漢字の發音が日本風になつて居るやうに朝鮮風になつては居るが、兎に角漢字に依つて傳來した言葉である。

諺文は朝鮮で作つた文字であつて、朝鮮世宗二十八年に訓民正音と名づけて二十八字の字母を頒布したのである。其の中初聲が十七字、中聲が十一字であつて、其れを組合せて諺文を綴るのであるが、今日實際に使つて居る諺文は訓民正音當時のものと多少違つた點がある。諺文の用途は日本の假名のやうに漢字の言葉と交ぜて使ふのが普通であつて、朝鮮の時文は日本の時文が假名交りであると同じく諺文交りであるが、諺文は朝鮮の言葉を發音の通り書き表はすことが出來るので、日本の假名よりは便利のやうであり、又諺文一字で漢字一字の代りに使ふことが出來るので電信文などには至極簡便なものである。併し從前は大抵婦女子が使つたもので諺文で書き又は諺文交じりに書いた著述は小說、歌謠の外多く見ないやうであり、公文證書の類には使はぬことになつて居つたが、英祖の時からは諺文で書いた私署證書は裁判所で認めぬことにしたのである。今日でも中年以上の人は手紙に諺文を使ふことを好まない風があるが、現在の朝鮮の新聞は諺文交りで諺文を併用して居り、從前にも論告を諺文に翻寫して人民に徹底させ、又防疫の心得を諺文で書いて頒布したこともあり、七書諺解の如きは大學、中庸、孟子、論語、周易、尚書、毛詩に諺文で讀み方を附けたものであつて、特に官版まで出來て居り、又經文にも諺文で書いたものがある。(未完)

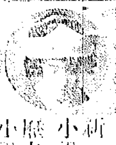
面白倶樂部新年號

忽三版出來 素晴しい人氣

怪奇小說 驛路の怪 吹雪の夜 岡本綺堂
歴史小說 大鹽情話 泡沫物語 森ほのほ
家庭小說 戀の悲劇 心の光 猪股秋霧樓
事實小說 罪の陶醉 美少年殺し 池田紫星
寫實小說 戀愛兩相 二つの心 梧桐園
冒險小說 奇術の卷 蝎み蜘蛛 江見水蔭

かるたの戰法 小山徹
歌劇無錢錄 ゆめほ
芳匪の仁王圖 兒玉花外
紅梅亭見聞記 清水蘢著
早苗ヶ淵怪 秋山[illegible]

新小說 隣の女房 上司小劍
歴史小說 桂昌院 木村錦花
講談 鼠のお辰 猪狩[illegible]
情話 賣られ行く女 澤田撫松
寫眞 讀物 滿載 豐富



漫畫小說 嬉し涙 山田みのる
歴史小說 穢多の娘 夢想兵衛
童話 金の魚 小川未明
支那奇譚 黒瞳にすむ人 水島爾保布
新作落語 貸家探し 篠原春雨
滑稽小說 褞袍 武田櫻塘

大阪不良少年 堂擺日記 [illegible]之助
初春の美容術 島村綾月
女優生活一年 一條久子の死 小生夢坊
囲碁必勝法 野外仙人
藝者出の奥樣 [illegible]

定價八拾錢 東京 講談社 全國各書店に有

大好評 大歡迎 大懸賞
歴史小說 壯烈快絶 明治二十三騒動 井上劍花坊
落語小說 出世の鳥目 吉岡鳥平
家庭小說 多情多恨 故郷の唄 大橋青波
武勇物語 荒木又右衛門 阪東太郎
情話 珍婚旅行 福奴の旅日記 [illegible]
探偵小說 行李詰の美人 高橋雨城
大懸賞 壹等壹百五拾圓 以下受賞數百名 賞金品參千餘圓
誰方にも面白く出來ます

萬世不朽の絶好記念

皇族畫報

恭しく惟みるに、今や改造されつゝある大戰後の世界に於て、天壤と倶に窮りなき我皇室の御繁榮は、われ等日本國民の誇りとするところにして亦一大幸福と謂ふべし。弊社は汎く國民諸君と共に聖壽の無窮を祈り奉り、竹の園生のいや榮えに榮え給ふ大正の聖代を記念し奉らんが爲め、謹み畏みて

● 兩陛下を初め奉り各皇族殿下
● 御八十有九方の最近の御眞影

御貸下げを賜ひ奉り、尊嚴高貴なる御眞影を一に集めまゐらせ、記事亦 兩陛下並に皇太子殿下御日常の御模樣を初め各宮殿下の御事どもを謹記し奉り、添ふるに 兩陛下の御眞影を附錄とし、婦人畫報臨時增刊として發刊せるに、至誠至忠なる我國民諸君の歡迎湧くが如く、忽にして數十萬部を頒布し盡し、暫らく品切れのところ今回其の再版成る。冀くばこの好機を逸せず速に一部を藏して、朝に夕に、日月列星の如く輝かせ給ふ尊き御面影を拜し、謹みて聖壽の無窮と皇室の御繁榮とを禱り奉られんことを。

各地書店にあり若し無き時は直接本社へ御註文あれ(定價壹圓貳拾錢郵稅八錢)

發行所 東京市京橋區京橋一番地 東京社 振替東京四九〇〇 電話京橋二二三五

小學校教員試驗錄 東京市[illegible] 小學校教員試驗

創始 東洋第一 東京自動車學校 自動車界ニ來レ
京城自動車講習所 京城黃金町三丁目
釜山自動車講習所 釜山府榮町一丁目

三千圓くじ五十本の新債券
來春貳月初回籤引
お早く御買入はお早く願ひます
一通 十圓十錢 送料一通十錢 二通以上十六錢
樂み多き運試し
六千圓當二通同番號組 貳拾壹圓
株式會社 勸業債券月報社 東京市麴町區内山下町(日本勸業銀行構内) 振替口座東京一八番

立文社發行 東京市芝公園九號地 振替東京一四一七七

長田幹彦先生著

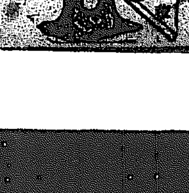
戀ごゝろ

最近上演されて東西劇壇に異常な革進的氣運を促した大評判の「戀ごゝろ」劇は本篇を其儘脚色したものであります舞臺の上で幾萬の士女の同情を受けた美代子は本篇に於て猶一層鮮明に自分の悲しい運命を語つてゐます。父の罪の陰に泣く若い女性の苦惱や哀切な可憐なその戀が如何にも如實に一分の隙もないほど巧みな手法で描破されて居ります。發行が遲れた爲め本社は前注文に殺到されてゐます。
定價貳圓五拾錢 函入美本七百頁

長田幹彦先生著 白鳥の歌 前篇 [illegible]
ゆく春 長田幹彦先生著 定價壹圓貳拾錢
呼子鳥 長田幹彦先生著 定價貳圓
不知火 長田幹彦先生著 定價貳圓五拾錢
長田幹彦先生著 しぐれ唄 貳圓六拾錢
嵐の曲 長田幹彦先生著 定價壹圓七拾錢
繪日傘 長田幹彦先生著 定價貳圓五拾錢
金扇 渡邊霞亭先生著 定價貳圓五拾錢
佐藤紅綠先生著 微笑 貳圓八拾錢
黃金 佐藤紅綠先生著 定價貳圓參拾錢
銀籠 眞山青果先生著 定價貳圓參拾錢
くれなゐ 田山花袋先生著 近刊
菊池幽芳先生著 女の生命 各一圓八拾錢

京日案内
貸家 吉野町二丁目十四番地 [illegible]
店譲り度シ 大至急 京城旭町一丁目
松屋商[illegible]

アート式 無砂 精米麥機 專賣特許



金銀 美術品、裝身具、[illegible] 京城明治町 八貴寶堂
守永春一 中村新太郎 解雇廣告
英商會 黃金町三丁目 二百五十五番地
自働車 新型 新品 京城南大門通四 自働車附屬品商
女給仕採用 京城南大門驛前 株式會社 [illegible]

東亞商工株式會社 第一回決算報告

自大正九年[illegible] 至大正九年十一月三十日

資産ノ部

科目	金額
未拂込株金	[illegible]
創立費	[illegible]
營業費	[illegible]
家屋及倉庫	[illegible]
銀行預金	[illegible]
振替貯金	[illegible]
預ヶ金	[illegible]
有價證券	[illegible]
貸付金	[illegible]
受取手形	[illegible]
假拂金	[illegible]
未經過保險料	[illegible]
什器	[illegible]
機械器具	[illegible]
在庫品	[illegible]
支店勘定	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

負債ノ部

科目	金額
資本金	[illegible]
借入金	[illegible]
買掛金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
假受金	[illegible]
保證金	[illegible]
社員積立金	[illegible]
受託品	[illegible]
未拂金	[illegible]
利益金	[illegible]
合計	[illegible]

當期利益金處分左ノ如シ
法定積立金 [illegible]
別途積立金 [illegible]
役員賞與金 [illegible]
使用人扶助基金 [illegible]
配當金(年約一割) [illegible]
後期繰越金 [illegible]
右之通リニ候也
大正九年十一月三十日
取締役社長 [illegible]
同 專務取締役 [illegible]
同 常務取締役 [illegible]
同 取締役 [illegible]
監査役 [illegible]
同 [illegible]
同 [illegible]

[illegible]

十年度朝鮮豫算説明

山林事業擴張

總督府殖産局山林課に於ける來年度の新事業は慶興島、藥遊、熊川、長山、春川、扶蘇、永興の七ヶ所に出張所を新設し同地方の山林の斫伐、造林の實行を爲すべく其の費用として十五萬三千八百二十八圓を計上せり又林業試驗の擴張額二萬八千二百四十八圓を計上せるが右は從來試驗を爲すに雇員等の下級者をして當らしめたるも其の成績振はざるを以て今回專門の技術者をして行はしめ造林、保護、利用等の試驗を爲さしめんとするに在り又從來林野調査委員會は多く兼務者をして當らしめたるも斯くては其の良好なる成績を期する能はず目下係爭中の事件三千件に餘れるを以て今回專務事務官二名、副事務官二名屬及技手若干を置き事件裁決の進捗を期せんとするに在り、其の擴張費として六萬七千一百十六圓を計上せり、林野調査の爲各道に特に道書記を配置せしも未だ配置を受けざる道あるを以て今回其の機關を擴張し七名の道書記及び技手二名を任命すべく二萬二千七百六十一圓を增額し調査及査定事務を進捗せしむること〻せり

模範場の擴張

九年度より十五箇年間に亘る產米增殖計畫に伴なふ十年度の經費は五十萬圓なりしも今回更に四十一萬圓を增加し合計九十一萬圓計上されたるが此は既に總督府が發表せる既定計畫を實行するものなり又從來水原勸業模範場は農事の應用的方面にのみ從事せしも今回各種の純科學的理論的方面の研究を開始し將來朝鮮農事經營の根本的解決を期すべく試驗室の增築內容の擴大充實の爲十四萬三千圓を增額せり

・山所在獸液血精製造所は從來血精の製造にのみ從事し來りたるも今回朝鮮に於ける地方病的各種獸疫の根抵より研究を開始し且之れに適合すべき血精を製造するとこなり同所費目に五萬圓計上されたり、農務課に於ける新事業は以上の外地方廳（六道）に國有未墾地處分係を置き未墾地貸下處分及調査其他の爲兎角遲れ勝ちなり事業家をして其時期を失せしめつ〻ありし弊害を一掃する爲三萬圓を增額し上されたり又棉作獎勵の爲人員增加等の費用計上されたり

鑛業所擴張

平壤鑛業所は採炭額十五萬噸なりしを更に七萬噸增加の計畫を立て且煉炭製造額三萬噸なりしを四萬噸增製し合計七萬噸を製造する設備を爲す爲め前年度の豫算二百四十七萬圓に百五十八萬圓を增額し合計四百五萬圓計上されたり

中央試驗所

中央試驗所は今回硝子琺瑯試驗を開始し又朝鮮人向き綿布の機械を開始する爲め六萬四千圓を增額し合計二十三萬三千圓計上されたり

撤兵は延期事實か

外務當局は日本軍の間島撤兵延期を否認するが我軍の撤兵延期は同地駐屯軍たる支那兵の未だ完全ならざる爲事實なるが如く支那は最近吉林奉天軍より二個旅を出す筈なるも財政窮乏のため非常に困難を感じ居れる模樣なり（東京電報）

支那の賠償要求

支那政府は琿春事件に干し日本出兵の結果蒙りたる損害に對し賠償要求を提出すべきは明白にして北京政府は今回吉林當局に其調査を命じたるが延吉道尹により調査し駐日公使をして日本外務省と交渉を開始せしむべしと（北京二十一日發電）

▲支那政府は琿春事件に際し日本が出兵したる結果被りたる損害に就き過般當局に對して調査を命じたるが延吉額穆和龍汪清琿春等の五縣は目下其の調査中なるが其他は略調査完了したりこいふ支那政府筋の報道に依れば調査完了したる地方の損害は大體左の如くなりと

▲寧安縣 負傷三十七人破壞燒失家屋八十戶騎馬五十頭牛二十頭掠奪せらる▲琿春縣 死者五十三名負傷者百六十八名燒失家屋五百十六戶▲東寧縣 銃殺せられたる者三百二十六名負傷三百十四名損害破損家屋七百二十二戶▲敦化縣 負傷者七名破毀家屋三十七戶・尚國銀糧食其の他物品に對する損害は右調査中に含まれ居らざるも多大なるものあるべし（北京電報）

新協約脱稿期

日米新協約の大體は既に議纏まりたるも協約成文の製作迄には尚交涉を重ぬる必要あるを以て引つゞき幣原大使と國務卿との間に交渉を行ひつつあるが明年一月中に條文の製作を了し得べし斯くて米政府は此條文を上院外交委員會有力者に提示して其諒解を求めたる後正式に上院に提出するに至るべし（東京發電）

英國の海軍政策

英國首相ロイドジョージ氏は下院の質問に答へ英國は次期の海軍建造計畫を決定するには日米兩國と海軍建造計畫に就き審議調査するといふ問題を充分審議しつゝあり右問題の審議は多額の軍費を減じ得るものなるを以て努めて之に當るべしと云へり（倫敦二十日發電）

新鐵道法案可決

十八日下院は全然新なる規則の下に鐵道を改造せんとする法案を可決せり右は各鐵道の獨立を認めながら全國の鐵道を統一して運用せんとするものにして且つ從事員を參與せしめ利益分配に預からしむるものなり（巴里十九日發電）

希臘廢帝歸國

コンスタンチンは昨日雅典に歸來せり此夜雅典市民は盛に前帝歡迎の熱誠に燃えて殆ど狂せん許り家々の窓こ云ふ窓露臺こ云ふ露臺は綠葉に飾られ前帝を歡迎すべきLTTの記號を示すため自動車はラツパを汽車汽船工場は汽笛を鳴らし各民家は滿飾せり（LTTは『君歸りませ』の頭字）既にして前帝愈々上陸するや同國民の歡聲は大地を震撼せり（倫敦二十日發電）

コンスタンチンの布告

希臘皇帝コンスタンチンの人民になへたる布告中帝の流謫中の顛末を列べ且曰く國民が自分に一致して再び自分を迎へたるは即ち前帝の所謂『國民の敬慕』にして國民の至情如何に深厚なるこそを立證するものなり爾今國民の敬慕に從ひ勿論武勇なる軍隊に恃みて先づ國內の平和を圖ると同時に國民に對して今後の生活を保けたしと（倫敦電報）

軍事令議に決議

二十日の軍事會議の要領は左の如し

一、軍費百二十萬元通過を…局崇船局及び總商會に求むる事

…八日の命令に於て沿岸州國民議會こ稱せられたり（東京電報）

ラリス內閣總辭職

ラリス氏はコンスタンチス帝に會見一同の辭表を捧呈したるがコンスタンチン帝は下院を召集する迄留任を要求せり（アゼンス二十一日發電）

前墺帝復位を企つ

伊太利はクロシアの一部アプランに於て秘密書類を發見したり此書類は目下瑞西に在る墺太利廢帝が陰謀を企てつゝある事を窺ひ知り得べきものにして之がためユーゴースラブは瑞西に向つて廢帝を放逐する事を要求するならん而して同國にして廢帝を放逐するに至ればガール廢帝は亡命するに至るべし匈牙利は廢帝に向つて單に匈牙利のみの王たらん事を求めたるが如きも帝は墺太利の帝位に即かん事を希望し居れりと（ゼネバ二十日發電）

極東兩政府合併

アントリフ氏は浦鹽政府首相に就任後未だ其の閣員を公表せざるも氏は齊多極東政府この間に介在して浦鹽政府の外務陸海軍各部を齊多政府に移管し茲に浦鹽政府は齊多政府に合併されたり（浦鹽二十二日發電）

尼港事件謝罪

駐日公使へ訓電

支那政府は駐日公使胡惟德氏に尼港事件に對し支那政府より日本外務省に向つて遺憾の意を表すべき旨訓電を發したり（北京二十一日發電）

關稅增徵と日本

附帶救濟の爲め關稅一割の增稅は一月十六日より實施の事となれり其の結果日本は昨年の貿易を標準とせば約十八萬圓を負擔する計算なり（上海二十一日發電）

滿洲特產界恐慌

銀の暴落で破產續出

今度支那豪商發祥號が銀暴落の打擊を受けて破產した爲め其の系統の大商店が殆ど滿洲到る處で破產し或は破產に瀕せんとする狀態にある未だ發表はされぬが開原にある同系統の商店七ヶ所は五百五十萬圓以上の損害で目下內々整理して居る日支合辦の開原取引所信託會社も該系統の濃厚なもので破產を免れないとの風說あるなど現在開原の特產物市場は甚だしい恐慌を來して居る（奉天電報）

徐總統の政黨組織

徐總統は新に國會議員を網羅した一大政黨を組織しようとし二十日錢能訓氏を總統府に致し其の組織方を依囑したが錢氏は此が爲め近々南下して民黨側と交涉するぞうだと傳へられて居るが錢氏が若し南下するならば此の外に或る重要な使命を齎すならんと（北京電報）

廣東聯合會決議

外務省着電＝本月十九日廣東各界聯合會は特別委員會を開き左の三項を可決せり（東京發電）

一、速かに軍隊を出し廣西を討伐する事
二、關稅剩餘金の交付を外交團に要求する事
三、眞榮新楊永泰が人民の同意を得ず且つ護法省令の通過を待たずして各國民銀行團に擔保を提供し公然脫稅を許りしを承認せざる事

女學生の排日運動

本日午前八時吉林に又々排日運動勃發せり今回の運動は支那女子師範學校生徒八十餘名により行はれたるものにして彼等は當日南大關に於て交々起つて排日演說を試みんとし校長の提止も聞かず隊伍を整へ校門を出で鍾道南にて二十名の警官隊と衝突し格鬪を演じたるも間もなく鎭靜せり（奉天二十一日發電）

災害復舊費

…千五百七十七萬二千圓なり…十七日を以て內閣より發表さるべし（東京發電）

鐵道高等官進級

聖上御祝電

智利新元首へ

智利國上院議員ドレーアツロアレキサンドリー氏は二十三日同國大統領に就任すべきに付き大泉殿下には御祝電を發送あらせらる、旨二十二日式部職より發表ありたり（東京電報）

原首相參內

重要政務奏上

原首相は二十二日の樞密院會議終了後午前十一時五十分參內大泉殿下に拜謁仰付けられ內外重要政務に就き委曲奏上次いで皇后陛下の御機嫌を奉伺し退出したり（東京電報）

樞密院會議

二十二日午前九時三十分宮中東溜間に於て樞密院會議を開き淸浦副議長以下各顧問官內閣側よりは原首相大木法相等出席左記御諮詢案を協議し正午散會せり（東京發電）

一、裁判所構成法中改正の件
一、奏任文官特別任用令改正の件
一、朝鮮語に通ずるもの・特別任用に干する件（朝鮮人特別任用）

師團新設

臺灣へ

現在の臺灣駐屯軍を廢し別に一個師團を新設せんとするの議は何れの點よりするも至當たるは疑問なく又臺灣統治上の見地より何等の支障なきにも拘らず其の實行を遲疑し來れるが此際臺灣軍を一個師團に改むるも敢て不可なしこの事に意見一致を見たれば其實現は決して遠き將來に非ざるべしと（東京電報）

新聞紙法

改正問題

新聞紙法改正案に對する警保局の原案中新聞記事差止事項の列擧項目に付き參事官會議の修正意見が一致せず雙方の主張強硬にして到底協斷を見る事不可能なる爲め結局床次內相の決議を煩す事に決し二十二日警保局原案及び參事官會議修正案の兩案を內相の手元迄申達せりと（東京電報）

電力法案提出

遞信省の提案に懸る電力法案は當局として其急施を認むる共に前議會以來の行き懸りを解決する必要上愈々之を提出すべく元田鐵相右丸次官の間に決定する所ありしもの〻如く近く原首相と具體的會議を遂げ最後の決定を爲すべしこ（東京電報）

鐵道債券

一千萬圓發行

政府は鐵道の建設及改良費に充つるため五分利國庫債券第一號一千萬圓を發行する旨二十三日の官報を以て告示せり右は全國郵便局所に於て賣出しをなさしむるものにして其の發行條件及利廻り步合等は大體前回賣出しの分と同一なり（東京發電）

▲今回發行すべき五分利國庫債券（か號）發行條件利廻り等左の如し

▲發行日大正十年一月二十日▲發行額一千萬圓▲額面金額種類二十五圓五十圓百圓五百圓一千圓五千圓一萬圓▲賣出條件二十五圓及五百圓迄の四種に限り賣出金額二十三圓五十錢（二十五圓）四十六圓七十錢（五十圓）九十三圓八十五錢（百圓）四百六十七圓五十錢（五百圓）▲償還期間大正十年六月一日▲利子五分▲金利支拂三月一日六月一日九月一日十二月一日▲初期拂期大正十年三月一日▲渡額面百圓に付九十錢▲利廻り步合年七分▲賣出期日一月二十日より二月五日迄▲賣出す所は全國各郵便局（交通不便の島嶼に在るものは除く）（東京電報）

殖民地行政委員會

一月より復活

殖民地行政委員會は一昨年來開會を見ざりしが明年一月頃開會の豫定には公員中の正副委員長及委員の人選中なりと（東京電報）

三省勅參任命

來春早々か

司法、文部、鐵道の三省勅任參事官は未だ決定し居らざるが年內は餘日なきを以て明春早々議會開會迄には全部の決定を見るべし（東京電報）

朝鮮豫算大斧鉞

目下當局こ押問答中

十年度特別會計豫算中一般會計豫算こ特殊の關係を有する公債借入金並に國庫補給金の確定せることは既報の如くなるが只だ當初の要求額に對し大藏省側より可なり大なる斧鉞を加へられたる結果各種豫算こも編成替へに相當難を生じたるのみならず朝鮮總督府豫算の如き歳出の一部に於て尙ほ大藏省こ押問答中のものあり（東京發電）

鮮人副領事案

樞密院を通過す

二十二日の樞密院會議に於て可決せられたる朝鮮人を副領事に任用するの件は鮮人優遇並に事務進捗を計る目的にて間島及長春に在勤する副領事を特別任用せんとするものなり（東京發電）

警務局の新豫算

總額二千二百萬圓＝主なる增加費目＝新事業說明

總督府警務局大正十年度豫算は既報の通り新增加額は八十餘萬圓なるも其內容は確定豫算に依らざれば詳細は知り難けれど聞く處に依れば

增加額中 の主なるものは左の如し

一、巡查俸給、被服、待遇、廳務費等に要する經費
一、火藥類試驗器購入費
一、汽艇汽機檢查用器具購入費
一、大邱、平壤兩警察署に騎馬巡查新設費
一、巡查募集に關する經費
一、警備船新造費
一、國境警備に要する經費
一、國境江岸警察署長昇格に要する經費

等にして巡查俸給被服等に要する經費は即ち俸給令改正及び物價騰貴に關する自然增額にして火藥試驗器購入は新事業の一にして現今にては火藥類

特に爆彈 等に對し諸種の試驗を行はんとするも試驗器なき爲非常なる不自由且つ不都合を感じたるより來年度は此の缺陷を補はんとするにあり汽艇汽機檢查用器具購入も亦同上の理由より新に要求したるものなり大邱、平壤に騎馬巡查新設は昨年騷擾以來京城に新に騎馬巡查を增設したる結果甚だ見るべきものありたれば來年度は更に大邱、平壤に之れを實施せんとするにあり巡查募集費及警備船新造費は別に說明の必要なからん

國境警備 に關する經費は從來對岸不逞鮮人及馬賊輩が越江して武力侵入等の事は稀なりしも近時其れ等匪徒の越江侵入して兇暴を逞ふする者多く之が警備甚だ手數を要し且つ搜索討伐追撃等に要する經費を計上せし殊に江岸警察署昇格は警備機關運行上最も必要なるが故に特に要求したる次第なり此の他の駐在所、警察署其他の改築、擴張等に關する經費は繼續事業こして又新營費も同樣本年こ異る處なし以上により警務局來年度豫算總額は二千二百萬圓餘こなり之を本年度に比せば約百萬圓の增加なるが如し

朝鮮の政府委員

二十一日の閣議に於て決定せる第四十四議會の政府委員中朝鮮關係政府委員は左記三名にして來る二十五日召集せらるべき議會の成立を待ちて任命發表せらるべし（東京電報）

朝鮮總督府政務總監 水野錬太郎
同 財務局長 河內山樂三
同 內務局長 大塚常三郎

時代に適應する警官教養の施設

講習所及び教養規程制定

警務當局談

總督府警察官講習所規定及び警察官教養規程制定せられ今回總督府訓令を以て公布せられたり從來は講習所こ稱する一分課の如きものを設け新任巡查に對する教養のみを目的こする所に從ひ來りたり然るに此際警察官講習所は獨立して一個の官署となり其規模を擴張し（一）新に採用者に對する教習を目的こする教習科（二）高級警察官講習の目的にて講習科本科（三）現在巡查を更に講習する目的の別科講習に分類し夫れ〳〵の目的に依り講習及び教習を行ひ時勢に順應すべく警察官の常識の向上を計るべく之が規定の制定せられたるものにて教習科は四ヶ月講習科本科は一年別科講習科は其都度適宜之を規定する事となれり講習本科は現に監督者たり又將來監督者たらんとする警部以上及警部補を講習生こして入學せしむる者にして警務局長若くは道知事の

知事の選拔 に依るものにて試みに其教科目を見るも左の如く高級警察官として必須なる科目を網羅せり

▲勅育、憲法▲行政法▲警察行政▲刑法▲刑事訴訟法▲民法▲商法▲犯罪搜查▲法醫學及犯罪心理學▲會計法▲經濟及財政▲衞生學及傳染病學▲工業及化學▲朝鮮語及國語▲警察取締に關する諸式及操練▲武道▲警察自治▲監獄

以上の如く警察學の專攻をなすべき者なるに就き教授等も夫れ〴〵専門家を任命するの規定なり特に中の成績優良なる者をして刑事講習、會計講習、司法講習等

其時宜に應じ 講習を開き講習せしむるものなり又教習科は從前の如し次に警察教養規定は從來設けありしものは餘りに細微の點に迄も規定し却て其時こ所こに應じ適宜の變改を行ふ事を得ざるものなるが故に今回之等の不便を補ひ教養の大綱を示す爲め舊規程を廢し新に規定せられたるものなり即ち教養は出動前行ふものなりしも種々の不便あり非番又は勤務後に之を行ひ警部補巡查部長夫れ〳〵の階級に從つて其必要なる教養を行ひ

時勢こ並行 して進む事に留意し規定の細目に入らず細目は地方の狀況に應じ道知事に一任せる者にて學科こしては其要目を示せり又實科こしては

法令、普通學、語學、實務講習、作業訓練
操練、劍道柔道、捕繩術

等にて又海江沿岸の地方に依つては水泳、船舶信號法、艦船の識別法、操船術等をも教習せしむべき方法を採れり

地方收納成績

京畿道管內

京畿道管內本年度地租第一期收納狀況は目下各郡より電報にて報道しつつあるが去る十日に於ける收入濟額は十一萬四千三百二十九圓にして調定額に對し一割八分九厘の成績なり尙之れを七年度同期收納成績の二割五厘に比するに一分五厘の減額を示せり之れが原因こしては格價暴落並に金融梗塞に依り納稅資金の調達困難なりしに因るべしこ

第二回情報委員會（中央は水野委員長）

中旬鮮鐵運輸

本月中旬朝鮮鐵道運輸狀況を聞くに其成績の前年同期に比し多少の減退を示せるは恰も前旬の狀態こ同樣なるが唯月半より木浦に於ける綿が四圍の情勢に驅られ漸々移動を見たるこ米豆の騰返幾分活氣を呈せる爲め前旬に對比すれば無論數量收入共に增加せりこ統計左の如し

▲乘車人員三十四萬五千五十九人（前年同期に比し五萬八千五百一人減）▲貨物噸數九萬二千四百五十九噸（前年同期に比し三萬百五十三噸減）▲客車收入三十三萬五千百八十圓（前年同期に比し一萬六千四百四十七圓減）▲貨車收入三十四萬九百六十圓（前年同期に比し一萬八千百六十圓減）▲一日一哩收入五十八圓三十七錢（前年同期に比し四圓二十八錢減）

適齡者注意

別項記載の如く大正十年度第二十師團徵兵檢查場並に檢查官は發表されたるが徵兵適齡者にして徵兵令第二十五條の二及徵兵事務條令施行細則第六條に示す適齡屆を出さゞるものは明年一月中に本籍地市町村長に屆出づべし又朝鮮に在りて徵兵身體檢查を受けんこするものは明年二月十日迄に最寄檢查施行軍隊に徵兵身體檢查願を提出すべしこ

徵兵檢查

場所こ檢查官

大正十年度に於ける第二十師管徵兵檢查場並に檢查官は左の通り發表せらる

平壤步兵第七十七聯隊（檢查官步兵中佐松本小二郎）龍山步兵第七十八聯隊（檢查官中佐石川哀吉）大田步兵第八十聯隊第三大隊本部（檢查官少佐村岡俊太郎）大邱及び釜山（步兵第八十聯隊大佐長野就虎）

情報委員會

第二回開講の內容

總督府の朝鮮事情に關する情報宣傳の爲に特設せられたる情報委員會は今回更に民間より大垣丈夫萩谷籌夫兩氏を委員こして囑託し其第二回の委員會を廿二日午後總督府第一會議室にて委員長水野政務總監半井幹事以下各委員丹羽大垣萩谷囑託等は最近撮影の活動寫眞試寫を觀覽し午後三時十分より委員會に移り總督府の發行しつ〻ある雜誌『朝鮮』の經營に關する件に就き協議を重ね更に當日試寫の活動寫眞に對する批評こ希望等に就き委員の意見發表あり午後四時卅分散會したり

總督府の意嚮

臨時商議委員訪問に對し

臨時商業會議所聯合會の決議を齎し委員連は二十三日午前齋藤總督水野政務總監を歷訪せしが其の結果を聞くこ

產鐵解散 は朝鮮統治上又交通政策上遺憾なり當局に於ても會社の解體を好まず從つて其の復活解散防止に就ては相當留意し盡力すべしこあり

平元線問題 は當局に於ても本年度より是非遂行したき希望を有したれど本年は新規事業に一切手を染ざることなり且つ大藏省の公債政策の關係上到底豫算計上の見込みなく遂に遺憾ながら繰延べの外なし

移入稅撤廢 問題は七百萬圓內外の歲入缺陷を生じその補塡方法を見出し得ず繼續避け難し唯更に繼續するか否かは目下調查中にて近く公表すべしこあり要するに產鐵問題の外は見込みなしこの意向なりし由なり

聯合會の要望

臨時全鮮商業會議所聯合會の決議によりて產鐵非解散平元鐵道豫算復活移入關稅延期等に對し夫れ〴〵齋藤總督及び滿山產鐵社長に宛て廿二日附請願及び要望の書面を發したり

辭令

（二十二日附）

朝鮮總督府典獄 飯坊善太郎
同 平川正義
同 三井久陽

依願免本官（各通）（東京電報）

京取重役決定

京城株式現物取引市場重役補缺二名は京城株式取引所役員交涉の衝に當りたるが蜂尾吉三郎、池辰馬の兩氏に決定せりと

京取決算

年八分強

京城株式現物取引市場にては二十四日午後一時より京城公會堂に於て第一期株主總會を開く由なるが當期業績並に分配案左の如し

當社創立以來鋭意市場の整備に着手したるも時恰も臨時帝國議會の…に遭逢したるを以て當局の…官多くは東京に出張したるに依り仲買人の詮衡其他許可事項以外に遷延し別項の通り七月二十日漸く許可ありたるを以て始めて開業するに決し同月廿八日殖產局長以下臨席の上開業式を擧行し一日の立會を開始し約三ヶ月半を以て當期を終へたり然るに今年三月來の財界反動は愈々秋の候に入るに及ても容易に恢復すべくもあらず金融は梗塞し物價は低落し一般商取引の沈滯其の極に達したるの觀ありて…加ふるに取引の期間は二三日に過ぎざるか爲めに京城其他近の駐文は當市場に於て取引されざる共地方取引に至りては…寧ろ漸次當市場を顧みるの傾向ありて月別の一日平均賣買高は開業當月たる八月には五百十三株（營業日數十三日）一萬九千六百七十二株を算したりしが九月には一千一百三十一株（營業日數二十五日）株數二萬一千八百九十三株に減少したり然るに十月に入るに及ては八百七十五株（營業日數二十五日）四百五十四株となり…

內地財界稍安定を得たるもの〻如く諸株概ね昂騰の勢にありし

…

利益金分配案

一金十一萬四千六百七十八圓十七錢 當期總益金
一金七萬二千五百四十五圓四十八錢 當期總損金
差引
一金四萬二千一百三十三圓九錢 當期純益金
此の分配は左の如し
一金二千五百圓 法定積立金
一金三萬三千圓（一株に付金八十五錢（年八分七毛強）の割） 株主配當金
一金六千六百三十三圓九錢 後期繰越金

	最高値段	最低値段	賣買高
京取	二五、五〇	一四、四〇	[illegible]
殖銀	一四、七〇	一二、一〇	[illegible]
朝銀	八、九〇	八、二〇	[illegible]
朝鐵	八、五〇	六、三〇	[illegible]
安信	一七、五〇	一三、五〇	[illegible]
東亜新	一六、七〇	一三、〇〇	[illegible]
仁取	一五、四〇	一四、〇〇	[illegible]
其他	…	…	[illegible]
合計			[illegible]

叙上の如く當期の營業成績の不振を反したるは固より財界の頹勢に因り到底之を避け得べからずさ雖も一に各種の事業に對して公正なる評價をなし株式の相場に依りて經濟界の公正ぜんこさは當社の理想こする所なるを以て朝鮮全道に於ける有價證券の賣買取引は一に之を當市場に集中すること百川の合するか如くならざる可からず而して之が

先決問題たるものは實に取引期間の延長にあり

以て九月以來屢々期間延長を其筋に申請し十一月末幸にして遞隔地方の所に於ての受渡は十五日の範圍內に於て之を許可せられ第二期の期頭よりこれを施することゝなりたるを以て第二期に於ては旁々財界の回復こ相俟つてより良好なる成績を擧げ得べきを信ず

人事消息

▼水町竹二氏（步兵大佐）岡村少佐其他こ共に二十三日夜發歸京
▼後藤亚参謀 二十一日間島より歸城
▼赤池濃氏（警務局長）二十二日夜發義州、安東縣、平壤、鎮南浦、兼二浦方面視察廿六七日頃歸任の筈
▼上田駿一郎氏（本府視學官）咸鏡北道に出張中の所廿五日歸任の豫定
▼川澄眞明氏（本府技師）は二十一日附平安南北道に出張を命ぜらる
▼岡崎哲郎氏（總督府水產課長）渡支の爲廿三日朝南行したるが十五日間の豫定にて南支那方面長崎を經て渡支する由
▲西村保吉氏（殖產局長）別府溫泉久家館滯在中

京鐵の起工式

…十五日より五日間開催に就き京…田完治（奈良縣）…

…事道床の奉典式…閉式により引續き立食の祝賀を擧行列其の他の催しあり夜は提灯行列等盛なりき（天安）

天氣豫報

…きも其他は一般に曇りなり氣溫は南部地方は氷點下五度內外中部は同じく十度內外北部は同十…

潮高 仁川 午後二時二十五分 午前三時二十分

鮮米移出の前途
標準格下の影響如何

内地に於ける米穀格附標準引下に伴ふ朝鮮米格下に就き朝鮮に於ける貿易の大宗たる米穀移出に如何なる影響を來すやに就ては總督府に於ても研究中にて若し問題となるに於ては適當の對策を講ずるの必要ありと觀測せられつゝあるが右に就き某總督府當局者は語て曰く今度の

新標準米は 舊標準米に比し三圓方の引上である從つて朝鮮米に就ても東京に於て四圓二十錢大阪に於て四圓方の格下げを行ふ事となつた結果之以下の米は建米として取引をせぬ事となつたのである故に今迄建米中に這入つたものも除外せらるゝ樣な有樣となつたのであるが此四圓乃至四圓五十錢の格下が果して妥當であるや否やは朝鮮當業者の研究を要する事項であらねばならぬ今深川邊りから東上中の河内山財務局長の手許へ送つて來てある標準米に就て見ると

我々專門家 として正當に見て四圓乃至四圓二十錢の格下は酷である樣に見受けられる精々二圓乃至二圓五十錢の格下を至當とする米であると考へる之れは現品と實質との關係を見て公平に考へ計算し得た結果である然らば當然の結果として一圓七十錢乃至二圓八十錢は朝鮮米なるが故に安價に叩かれる嫌ひがあると見なければならぬ朝鮮米なるが故に叩かれると云ふ事は朝鮮米の眞價が未だ完全に認められない結果取引者筋が内地同等の價格に引取り兼ねる結果で今日の處已むを得ぬ事情もある然し

財務局長の 報告に依つて見ると東京邊りでは朝鮮米は實際に於て六圓五十錢位の格下を至當とするが特に朝鮮米優遇の趣旨を以て四圓程度の格下に止めたと云つて居るそうであるが之は心得兼ぬる言ひ草である成程米價が石四十圓以上もした時代には六圓程度の開きがあるは當然として現に二十五圓位の今日左程な開きの無い事は何人にでも判る話である無論値を叩くと云ふ事は如何にも不都合であるとは云へ朝鮮米は以前同樣のもので二圓五十錢位は叩かれて居た事を思へばまたぐ

朝鮮米は認 められつゝあると云はねばならぬ此の格下げで從來の三分の一は不合格移出品が出るであらう然し現況では内地米界も此の上下落もあるまいので受渡に問題を惹起する事は無いと信ずる云々

支那關税引上影響
大藏省當局談

支那五省に亘る未曾有の饑饉は實に悲慘を極め列國の同情を集め現に我國に於ても之が

義捐金の募集 中なるが財界不況の結果一時寄金[illegible]からざるやと憂慮されたるも民間の同情比較的に集注され此狀態にては豫想外の額に達すべく兩國修交上寔に喜ぶべき事なり隣邦相助の友誼的親交も見ねてこす然るに這回支那政府は饑饉救濟の目的を以て從來の關税率を一割方引上け向ふ一箇年間實施する事に決定し列國の承認を求め居れり之支那政府としては正に然るべき手段と云ふべし何となれば近年支那財政の紊亂窮迫は豫想外にて此儘に放任せば政府の財政策は

愈々行詰りの 結果に終るべきは當然なるを以て今回の饑饉救濟に籍口して列國の同情に訴へ無事之が承認を得んと欲するは寔に支那外交政策の機宜に適せる次第なりと稱すべし右の結果我國の對支貿易上打擊へ之が實施の曉に於ても差したる影響なかるべし何となれば關税の引上は却て自國に於て消費せらるゝ商品の價格を自から高騰せしむる結果に歸著するものなれば從つて購買力を減退せしめ同國政府は之が爲め

折角企劃せる 自然增收的財源も豫期せる如くに之を得る事至難なるべしと思惟す故に今回の支那政府の關税引上策は五十歩百歩の政策にして寧ろ之を爲さゞるに如かざるべしと思ふ云々（東京）

滿鐵廓清
課長級に淘汰あらん

滿鐵の重役の辭職又は更迭説等の屢傳へらるゝは六萬の社員を有する特殊の大會社として甚だ外間の好からざる處にして何故に斯る流説を傳へらるゝか甚だ以て奇怪事と云ふべし中西副社長の辭職説にまれ久保京管局長の辭職説にまれ其の出所を追るに何れも大連本社内より流布されつゝあるが如し同社内の空氣は久しき以前より惡性感冒に罹り課長以下の小才士小策士が多く妄説を逞しふしつゝ有は爭はれぬ事實にして此は識者の等しく觀察して居る處なりとす思ふに野村社長の温厚篤實に反し中西副社長の精敏能く勵るは賦て小策士連の揣摩臆測を生ずる原因に外ならざるべし聞くが如くんば滿鐵幹部に於ても此の情弊を一掃する爲め第二次の淘汰を行はんとするの意あり漸次課長級以下主なる社員を動かさんとするものゝ如しと云々と消息通に語れり

道評議員決す

黄海道評議員當選候補者に付ては既報の通りなるが道廳にては十二月二十日愈左記の任命を發表せり

▲選擧に依らず任命せられたる者

武藤晉	海州郡海州面
呉國東	海州郡[illegible]面
申宗均	延白郡[illegible]面
柳宅熙	金川郡外柳面
張再植	平山郡寶山面
朴贊稷	新溪郡縣西面

▲選擧に依り任命せられたる者

盧蒼顯	瓮津郡富民面
呉宗鎬	長淵郡長淵面
孫致洛	松禾郡松禾面
洪性瑨	殷栗郡殷栗面
李麟培	安岳郡安岳面
朴濟潤	信川郡信川面
鄭健裕	載寧郡載寧面
小林[illegible]	黄州郡黄州面
李達元	鳳山郡[illegible]面
張丈賢	瑞興郡瑞興面
成鳳弼	遂安郡大坪面
李容[illegible]	谷山郡花村面
安岡莊藏	海州郡海州面
金泳澤	海州郡海州面
劉[illegible]燮	同 上
金[illegible]洙	殷栗郡長連面
久保山[illegible]	黄州郡兼二浦面
穗坂秀一	同郡黄州面
宋昌鎬	黄州郡黄州面
近藤近	鳳山郡沙院面
李台健	鳳山郡山泉面

農村窮對策
殖銀の米穀生産者と金融

殖産銀行にては今夏來の金融緩和に資し且勸業資金の疏通を圖るため水利

事業資金 水害復舊資金の放資を行ひ客月來は不動産金融に特種放資を行ふ事となりしは既報の如きが最近不動産の特資申込みは各地合計約五百萬圓に達し目下貸出し審査中にあり然るに豐作より來る米價の暴落は農村の不況を來し何等か救濟策を講ぜざれば獨り農村の窮境のみに留まらず地税煙草税の納入水税の成績等に大影響あり更に此の儘放置せば正米は

愈々安模樣 あるにつき同行にては從來の方針たる米穀の生産者金融を開始し生産者を救助して農村金融の緩和を圖るべく目下本店並に各支店にて講究中なるが地方により金融組合の倉庫煙草組合の倉庫その他を利用する事となるべく條件等は尚ほ未定なれど現在の米價は極めて低位にあるにつき少くも時價の八掛位を融通し期限は短期にて書き換へを許す事となるべし尚ほ右の方法の普及を告ぐるに至らば米價の低落を防止するに効あらんと

平壤商議の告訴事件
調停に力む
大原鮮銀支店長等

屢々報道せし平壤商業會議所評議員會が革新會の一柳村五郎氏外一名に對する名譽毀損及び誣告の私訴要求事件は

檢事局側 の意見既に定まり何時にても起訴の手續に及ばんとする運びに至りしが近頃右事件につき平壤の各銀行業者が主として調停の勞を取らんとて頃日來調停者側と商議評議員側との間に屢會見せるも

本件和解 の條件は革新會側に有利にして商議所側に不利益の點多く殊に商業會議所會頭松井民次郎氏の顏を踏みつぶす譯にも行かずとて商議側は大部分調停に應ぜざることに決するもの、如し然るに奇怪なるは商議側にも内田錄雄氏外一二の軟派もあり今後如何なる結果を見るべきか

注目に値 すべく尚本調停問題に對し商議以外民間有力者中にも松井氏の近狀に同情し調停者及び軟派を標榜する内田錄雄氏等の行動を批難するもの少からず隨つて本調停事件は大勢の上より打算して結局不調に終らんと（平壤）

平安北道の施政宣傳班成る
近く第一回の活動開始

平安北道では近來著しく民心の安定を見つゝあるを以て此の際一層其效力を確實ならしむる爲に施政宣傳班を編成して愈

近く活動に入る 筈であるが其の目的とする處は道民に對して日韓併合の精神趣旨を徹底せしむるにある事は勿論であるが其の宣傳の方法としては宣傳ビラを配付し標本等を利用して併合前に於ける朝鮮の狀態日韓併合の事情併合後に於ける朝鮮とりわけ

平安北道の發達 狀態、世界の大勢や朝鮮の地位日本帝國の國力、民族自決主義の正體、朝鮮獨立の妄想、總督新政の旨趣及實施狀態、内鮮人の異なる自覺内鮮一家の幸福日韓併合の精神大成等を平易に講演する筈である相な此の宣傳班は四班に編成せられ第一班は寨本[illegible]一部長、庶務課長外に道吏員數名第二班には飯尾知事勸業課長外に道吏員數名第三班には道參與官地方課長外吏員數名第四班には木島第三部長、技師學務課長外吏員數名であつて

第一回の宣傳は 本年度内に於て管内の各府郡現在地及び樞要の土地にして施行する計畫であるが第一班は本年十二月下旬出發先づ鴨綠江岸の數郡に亘り大に宣傳し第二班は來年初々出發して奧地の高原地數郡に亘り宣傳し第三班は來年を二月上旬出發し中央部數郡受け持ち第四班は來年三月上旬出發西の上流道沿岸の各郡を宣傳する豫定であるが更に

第二回の宣傳は 大正十年度に於て細部に亘りて熱心に官傳の效果を示さうとするのであるが第一回の宣傳には素より府尹郡守警察署長公立各學校長府郡參與會員等も協力して管内隈なく宣傳の實を擧ける相である（新義州）

施政宣傳に就て

飯尾平安北道知事は去る二十日午後六時より新義州第二餘新館に在新義州安東の各新聞記者通信員を招待して一席の宴を催したるが其の席上に於ける挨拶は左の如し

予は本道に赴任以來常に各位と一堂に會して懇談の機を得むことを望み居りしも私公多忙にして今日まで其機を捉ふる事を得ざりしが本夕は歳末御繁忙の際且初寒の候にも拘はらず幸ひに御貴臨の榮を得たるは洵に感謝に堪へざる處なり各位既に御承知の如く朝鮮に於ては昨年騷擾勃發以來、流言蜚語百出し

良民は 其の歸趨に惑ひ殊に本道に於ては今春來不逞鮮人出沒し、官民にして不幸彼等の毒手に斃れ或は多額の金品を掠奪せられたるもの少からず民心恟々其の堵に安んぜざるものあり、管内數郡に於て面事務所の如きは一時殆ど執務するものなく從つて行政機關は一部休止の已むなき狀態に在りしは頗る遺憾とする處なり予はこの窮狀を一掃し人心の

安定を 期するに全力を不逞鮮人を剿滅し良民をして生命財産の安固を得せしむると共に帝國統治の方針を周知せしむるの急務なるを思ひ之が方法として一面警備力を充實し、又一面其の運用の機活を企圖し、又一般官吏を督し、機會ある每に出張の際は勿論一般併合の精神、總督新施政の

趣旨等 を極力宣傳に努めたり、幸ひにして過去數ヶ月間警察官の不眠不休、犧牲的精神と一般官吏及び其他の機宜を得たる措置とにより着々其の效果を奏し爲めに最近地方民心漸次平靜に歸せんとする狀態にあるは各位と共に同慶に堪へざる處なりとす予は此の點に於て更に一層進んで

地方民 に對し世界の大勢及帝國の國力、日鮮併合の精神及總督新施政の旨趣を徹得せしむるに對し、全力を傾注し以て今後不逞者の脅迫或は煽動等に乘るも直に人心の動搖を招來し或は輕擧妄動騷擾を再出するが如き事なき樣帝國の統治に對し

する徹底的の信念を涵養せしむる目的で

朝鮮人 をして帝國臣民としての責任及び[illegible]の觀念及び實力の涵養と其の地位の向上を務たるを思ひ今回本道の幹部を員として施政宣傳班を組織し管内府郡及び警察署等を利用し取洛要地に於て講演を實行する事とせり惟ふに朝鮮の

治平を 保持し内鮮一家の幸福を享受するは相互の融然たる精神的融合に俟たざるべからず、而して是等精神的方面に於ける問題は社會の耳目たる新聞紙の偉大なる勢力に期待する處頗る大なりとす抑も各位が平素本道の行政其他各般の施設に對し平素公正なる批判と多大の援護を與へられつゝあるは予の

感謝に 堪へざる處なり、依つて今回試みんとする施政官傳に就ても其の趣旨の存する處を諒察せられ各新聞紙上に於て特別の盡力を仰ぎ民心指導の上に一層の盡力あらん事を希望する所以なり云々

新兵入營式

大田第三大隊にては十二月二十二日午前九時三十分より營庭に於て新兵入營式を擧行したるが定刻新兵は營庭に參列長野聯隊長の勅語奉讀に次で一場の訓示ありて入營の式を閉ぢたり

群山道評議員

群山府民の道評議員候補者選擧の結果は既報の如くなるが民選道評議員として赤松繁夫氏任命せられ官選道評議員として森菊五郎氏任命せられたり（群山）

木浦評議員選擧

木浦道評議員選擧は廿日午前九時より木浦普通學校に於て執行、深川府尹其他府吏員出張、立會人安庭奉、文在喆兩氏立會の上午後三時締切開票の結果左の十氏當選せり

[illegible]

天安學校評議員

十二月二十一日天安學校組合評議員三名缺員選擧の結果左の如し

[illegible]

綿花市場成績

全南の[illegible]新設したる綿花市場は木浦、光州[illegible]の事情により不成績に終り只[illegible]山浦一ヶ所の[illegible]たるが開場當時は[illegible]附近共同販賣所の[illegible]かりし等の關係にて[illegible]たり

久保順吉氏張宴

[illegible]久保順吉氏は今回道評議員に任命せられたれば廿一日[illegible]曾て[illegible]の爲め平壤記者團を七星館に招待し盛宴を張り[illegible]

米婦人學校長見學

[illegible]婦人エスピー、ケーンス氏は十二月十九日海州に來り道廳伊藤學務課長の案内にて海州公立普通學校及び海州公立農業學校を見學せり

商議評議員會

[illegible]新設を案出したる[illegible]を云ふべし（木浦）

商議評議員會 別報[illegible]の件に付平壤商業會議所にては二十三日評議員會を開き調停條件をも付議すべし右に付奧田副會頭は次の如く語る（平壤）

今回の事件に付き調停と云ふことは別に思ひもせぬ[illegible]して平壤商業會議所の[illegible]可能なものあれば別に退くるの必要なし勿論商議[illegible]の面目を維持し松井會頭の顏を立つるならば[illegible]ふことは敢て有ひないが不幸にして條件が相手方に容れられざれば決局不調に終るだけのことに過ぎない譯である

飯尾知事張宴

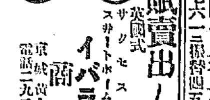
北道知事飯尾藤次郎氏は去二十日午後七時より新義州第二餘新館に於て新義州及び安東縣の主なる新聞記者通信員を招待し一夕の交驩をなしたるが主人側[illegible]

釜山電燈
瀕死の狀に在る
府民を惱すこと甚大

[illegible]山の電燈は歳末に際し愈其惡狀たる發電機老廢瀕死の狀態に入り燃料の石炭注射も更に其效なく此處數日前より明滅停電勝の光の脈搏寸時も止まず恰も時季の如く歳末多忙の商家に多大の不便と損害を與へスリ、コソドロ各所に横行し不時の盜難者續出し一方機關車頭停止勝し其他諸會社の蒙る迷惑少からず一般府民を惱ます事頗る甚大にして各方面よりの會社に對する抗議も何等の其甲斐もなく日なく會社の[illegible]の見込なし（釜山電話）

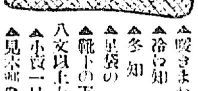
捨て賣より安し
極上 毛布 只同様の處分値
當店で今回整理のため投げ出した二萬餘枚の毛布は近頃他に類なき優等品の安物ばかりにて家庭用旅行用防寒向極上な品ばかり一時六・七圓もしたものがなるも愈々年末に迫りしため捨て賣を通り越した馬鹿安値・色・一枚只の一・八十錢・別上等二枚續き物一組三圓六十錢と云ふ破天荒のヤスサ賣切れ始めたのですから注文殺到して居ります今直にハガキで御注文あれば代金引換で送ります 東京市淺草區[illegible]町川岸通の角
福田商會毛布部
電話下谷七六一二 振替四五二三六

月賦賣出し
英國式 サンセス スポーツホーム
イバラキ商店
京城黄金町二 電話二九二七番



▲萬年筆修理▲
白金付替
▽完全即時修理一日以内
▽新品各種價格割引
▽舊品高價交換に應ず
京城太平通一丁目 萩木出張所

▲萬年筆修理▲



防寒
特品製 足袋下
▲暖きまわた製
▲冷に知らず
▲冬知らず
▲足袋の下へ
▲靴下の下へも
八文以上十一文迄
▲小賣一足五十錢
▲見本部券三十錢
毛ハンカチ 寢具 オル 布 御商
日用品 寢具 一
大谷文雄商店
大阪西區江戸堀南通四丁目
振替大阪六一六五番
特約店 京城三越

外科内科 皮科 徽 京城旭町
X光線KS式デアテルミー科
院長 正六位勳四等 島崎龍一
島崎病院
電話二七三六番 入院隨意

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町壹丁目 電話一一〇二番

ベルベット石鹸
▼歳暮大賣出し
全國到る處第一流の小間物化粧品店及び諸雜貨店に就き御購求被下度奉希上候
製造元 神戸 日本リーバーブラザース株式會社

鎭靜催眠劑カルモチン
本劑は既に神經性疾患の治療劑として知られたるブローム及纈草の合理的化合体にして、殆ど無味無臭服用容易、些の副作用後作用を示さゞる神經疾患殊に、神經衰弱、ヒステリー並に神經性不眠に對する優秀治療劑なり。
（本劑の藥物學的實驗は東京醫科大學精神病學教室醫學士佐藤恒一氏に依つて詳細に實驗せられ、醫學博士山田鐵藏氏醫學博士荒井恒雄氏醫學博士矢尾板四郎氏外多數醫家の臨床實驗報告を有す）
本劑は又小兒夜驚症、神經性頭痛、癲癇、船醉豫防、肺結核患者の興奮不眠等に對し奏効す。
二十五瓦入 十瓦入 十五錠入 五十錠入（全國知名藥店に販賣す）
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

何れの御家庭にも
御家庭のどなたにも
愉悦と滿足とを齎らす
高級無喇叭蓄音器
ニッポノラ
新春御家庭娛樂の中心として
年末年始高級御贈答品として
此に優るものありとしも思へず
▲西川ピヤノ、ヴアイオリン亦取扱有之候▼

一月賣出し新譜御案內

謠曲 小督 三井寺	櫻間 [illegible]
長唄 綱館（四枚）	芳村孝次郎
淸元 北洲	喜久太夫
常磐津 將門	松尾太夫
歌澤 [illegible]	寶石[illegible]
俚謠 安來節	糸子三八二
薩摩 色勸進帳（二枚）	稲家 オ三
寄生節 千葉心中	秋山 [illegible]
浪花節 乃木將軍	澤田 清美
琵琶 五條橋	小池 幸水
浪花節 伊那孫兵衛	篠田 實
詩吟 殘月 羨兒	雨宮 [illegible]水
唄 木やり 浪の上	水戶 金太
義太夫 大 津	[illegible]
外に金の船童謠、新曲想夫戀	古靱太夫

株式會社 日本蓄音器商會
朝鮮京城本町二丁目 電話二一八三番
月報 カタログ 進呈
全國到る所の蓄音器店にあり
ニッポノホン

右端欄（前頁より續く）：

[illegible]數二十六萬六千百四十四噸貨車數八十四萬四百十三圓にして前月に比すれば數量に於て三萬九千九百四十八噸（二割八分增）收入八萬八千二百七十二圓（二割九分增）を增加し前年同期よりせば前者一萬百六十五[illegible]

[illegible]下半月に至り仙主の小作米收集と合[illegible]

木材	一九[illegible]七	△二九[illegible]
鑛石	九九〇一	△二五八二
鹽	九三五六	△三三三八
石灰セメント	七九五一	五六八九
石材砂利	七四四三	三〇八〇
雜穀	七三二四	△四九六七
大豆	五九四四	△五九〇〇

石油	一五〇九	△五六五
綿布	一一六五	△一一二六
麥粉	八二八	△二一
豆粕	五一一	△五四九三
生牛（五一六頭）	二五八	△三五四六

[illegible]

釜山（含む[illegible]）	[illegible]	[illegible]
群山	三六三二	一一八
仁川	二三四五	一一一
南大門	一二六六	一〇六
木浦	一〇八一	一〇五

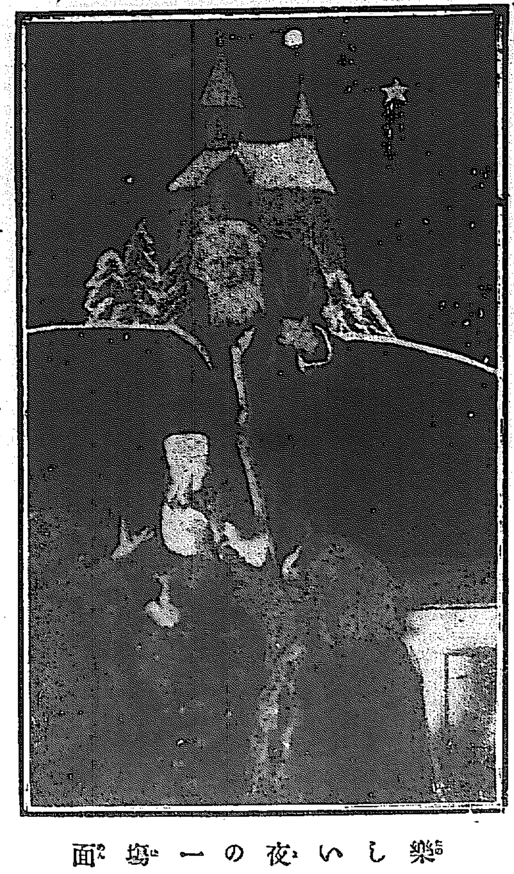
[illegible]行の爲め十[illegible]日午後[illegible]時二十九分大田驛着北行列車にて來田二十三日午前十一時二十七分大田驛發南行列車にて歸[illegible]

東拓と殖民事業（九）
移民收容の現狀
各移住地視察概要

尙ほ此間官憲の融和施設も原因してゐる事勿論である。水原管内…何々管内と云ふは東拓支店を意味する…で實見した事であるが内鮮人共同で道路修築をやつて居る中に朝鮮在來の農具で鉀と稱するを使用して居る。然るに其主力を要する柄の部分は鮮人の所謂なのが之に當り補助機關たる組の部分は移民の子女が之に當つて居る。見て居ても漸々する事柄である。大邱管内達城郡達城面内で相互の親睦、農事の改良等を標榜して内鮮人の多數で農事改良組合を作つて内地人を組長に鮮人を副組長に他の役員は半數宛にして色々の事業をやつて餘程成績のよいのがある。如此事柄に親善の接觸をしてゐる爲か、殊に鮮城面内の移民が共同して神社を建てた場合の如きは鮮人も皆應分の醵出寄附をして勞役にも服して居る、從つて神社にも參拜する正に當局の施設以上な事をして實果を收めてゐる。金堤管内金山郡五山面の移住民は全南の宮三面移住民に次で湖南線に於て優良と稱せられて居るか鮮人との接觸が大變能く行つてゐる。鮮人と共同して當局も吃驚したと云ふ立派な道路を完成してゐる一面、内鮮人共同の貯蓄組合を設けて秋收季一定の籾を持ち寄つて農閑期に精勤して不時の用に貯蓄して居る。此處には耶蘇敎の敎會堂があつて其關係か昨年來何處からか煽動家が入り込んで頻に爲蔵宣傳を試みたが全然駄目で煽動家の方が却て居れなくなつて逃げ出した例がある。江景管内に江景開墾と云ふ移民團體がある。曾て嘗作祝賀會と云ふ催を行つて鮮人多數を招待して大に内鮮融合を策した事がある結果は頗る良好で爾來些の縺りがないと云つて居る。全北扶安に片山麟雄と云ふ相當知識階級の移民が居る。本年二月一家擧つて流行性感冒に罹つて殊に本人は餘程の重態なるに近くに居る移民も同樣の狀態でどうする事も出來ず日に日進する病も唯成行に委すると云ふ境遇であつたが附近鮮人は數人宛晝夜で詰め切り醫藥其他看護は勿論、家事の一切を遺憾なく處置して遂に全家を救けた。又同じく金堤郡月村面に稲野市郎次と云ふ篤實な移住民がある昨年春内地に老母を迎ふべく往復したが色々の用件で歸朝が遲れた。折柄畓の移植季が迫つて居た爲焦慮して歸つて見れば自分の畓には既に全部移植し了つて居る。驚いて附近鮮人に訊ぬれば『附近一面移植されたのに大人の分のみ未了だから自分達が相談して移植して仕舞つた』と答へたと聞く。之等は平素鮮人との接觸に餘程注意を拂つて溫情を持つて當つて居る爲である事無論ではあるが。一般鮮人も人情の美しさを有しておる事は同一である。矢鱈に高壓手段を取れと云ふは全然當つてゐないと信ずる。此上は親善の一例に過ぎないが鮮人が移民の處に農事改良談を聞きに來るとか内地の風俗を尋ねに來るとか或は盆正月に贈答して親善の增進に勉めたり冠婚に往復して居る例は全鮮の移民地に頗る多い。

クリスマス
京城基督敎青年會

殘雪が白く、夕陽も落ちた京城の夜空から肌を切るやうな風が半の暮を吹いて、クリスマスの祝會には相應しい情景である廿二日の午後六時三十分から京城基督敎青年會のクリストの降誕祭が、京城公會堂に於て催された。御旨を讃ねて會する者約七百、先づ澁谷蟹氏が司會に依つて第一部のプログラムに入り第二部となりて、華やかな樂の音や、青年會野部員の素人劇等に今日こそなだらかな夜の集ひ笑から……喜びに、そうして感激に充ちた聖誕の奇蹟より永劇にかけての信仰は彌が上に深く、最後に樂友會のオーゲストラに依つて『愛と夢の爲めに』の唄が奏せられて、誰もの胸に溢れる程の喜悦の色が見わて、散會。



樂しい夜の一場面

朝鮮の社會事業
内地の其れを其儘は考へものだ
それ／＼土地の事情を研究して適宜に實行する
總督府内務局 矢島第二課長談

朝鮮に於ける社會政策に就ては種々研究され京城、平壤、大邱仁川、新義州等に於ては色々實行されて居るが内地に於て社會事業の現狀を見るに唯僅に公設市場の經驗が殘つて居るだけで其の他は皆失敗に終つたと云つても過言でない隨つて今直に

内地の例 を以て朝鮮に行はんとするが如きは避けねばならぬ

内地で成功して居るのは大阪方面に於ける委員であらう是れは府會議員とか市會議員とか云ふ公職にあるものが其の主腦となつて各方面に有給の書記を置き非常に細かい區域内の各戸に付生活狀態を詳細に取調べ一週に一二回宛各戸を巡回し種々の面倒を見てやるのである例へば子供が生れたと云へば出生屆、人が死んだと云へば死亡屆、結婚があると云へば之に關する種々の世話を燒き又職業が無くて困るものは夫れ／＼各方面と評議を取つて口を見付けて遣る病人があつて治療に困ると云ふ場合には慈善病院に導いて色々世話をしてやる寄附などあれば公平に之を分配すると云ふやうに何から何まで面倒を見てやるのであるが成績が頗る好い此の方面の委員は保護師抜か適當であるけれども其管内のものは自然に出現されると云ふ關係となつて品行も漸次良好に向ふと云ふ有樣是れは林市藏知事の時代に出來たので確かに成功と云つてよい

朝鮮では 前記の各處に色々行はれて居るが平壤の人事相談所は相當の成績を擧げて居るらしい

平壤では 今回更に三萬圓ばかりの金で公設浴場を初むることになつて居るが理髮店なども兼行するそうで多分面白からうと思ふ。其の他新義州の公共洗濯場も面白いらしい。朝鮮に於て一番必要であらうと思はれるのは實費診療所であらう、普通の病院は藥價が相當高いので貧困者は隨分困るらしい。要するに朝鮮に於ける社會事業は

總督府と しては別に諸一的方針を立て、遣らせるのでなく其土地の風習事情等もあるので夫れ／＼研究の上實行すべきものがあれば實行させると云ふ事になつて居る云々

僞造犯人
朝鮮紙幣

れた朝鮮紙幣僞造犯人大阪高麗橋通り二丁目宮内幸吉（五二）は其の後下關署にて取調べ續行中な[illegible]有せず（下關電報）

密輸犯人
ダイナマイトの

件[illegible]に下關水上署に檢擧せられたること既報の通りなるが逮捕された犯人は[illegible]其の情夫にて對州生れ小島伊一（二〇）がお八ツの紹介にて彌太郎を訪ね來り爆藥を朝鮮に密輸せり是を慶北盈德郡江口港の鰯漁者に賣却し今回復びダイナマイト五十本を手に入れ渡鮮の目的に[illegible]重取調べを續け居れり（下關電報）

石炭供給
内地から遙々

の觸手六間の二艘は石炭を積載すべく適當の港灣なく燃料缺乏の處ありといふので吳に在る特[illegible]るこは未だ曾つて前例の[illegible]このやうで多分當局の[illegible]街に[illegible]れつゝあり（吳電報）

家庭と婦人

正月料理
數の子ごまめ黑豆の拵へ方
松岡登宇子女史談

新年の御料理について永樂町二丁目に和洋料理の敎授してる松岡登宇子女史を訪へば今しも問題に因んだ御重詰物から酉に因んだ御料理やらの御稽古がすんだ許りの處で見るからにおいしさうな

稽古の品 が並んでゐた

『御料理もなか／＼六箇敷いものでいろ／＼な條件を完備しなくては眞の御料理には叶ひません。それにこんな問題などになりますと色どりやら取り合せなどに一寸六箇敷いものですから今日は何處の御家庭でも御拵へになる數の子とごまめと黑豆の煮方とを一寸御話し致します』と云ふ前提に次の如く語る

三島 數の子 上等の數の子を百めを二三日米の洗ひ汁に漬けてすつかり軟かくなりましたら鹽でもんでよく洗ひそれを平たく薄くへぎ又洗つて水をきり鰹煮汁に二三時間浸すそれから白胡麻五勺が程よくいりて摺鉢ですり醤油と味淋味之素砂糖煮汁を適宜にいれ味を試み前の數の子を和へるその和へたものを海苔のほいろにとりて微塵にもみつぶしたものにまぶす

照りごまめ 大きくないもの百め程を一應いりて醤油三勺酒五勺砂糖中匙五杯の煮つめて大よそ半分位になつた時ごまめをいれて鍋をあけ粉山椒をふりかけあついうちばら／＼にはなす

黑豆 は普通で一升に對し重曹茶さじ二杯程いれてたきますと軟かくよく煮へます

慰問袋
の荷造りに忙しい
愛婦朝鮮本部

二十二日南山の愛國婦人會本部では水野總監夫人初め各役員早朝より集合して慰問袋の整理に忙しい、過ぐる日の役員會でそれ／＼選定された石鹸、タオル、キャラメル、卷き紙、狀袋其他數十種の品はあすこゝそうづ高く積まれて何れも

皆喜ばれ相な もの計り、役員一同は甲斐々々しい姿で或は品の取り合せ或はつめ方或は包裝方と目のまわる程いそしまれて暖かい御情と共に綺麗につめられた袋は見る／＼うちに今迄のタオルの山キャラメルの山は次ぎから次ぎと取崩された跡は袋の山と變る純白の布にくつきりと紫に匂ふ文字の色はなんとなく一種の凛んとした氣分を漂うてゐる

大橋主幹談

明日は是非とも發送の豫定で四千以上の數ですから今夜も夜業します誰れの口も厭はぬ各役員方の此の獻身的の努力の程は充分察せらる『一寸罪でせうよ』と袋の中にはあどけない

少年少女の手 になつた書き方自由畫なども封じ込まれて定めし奥地の子女の心にくひ入る事だらうし襷十字におやごつた御夫人方の姿も甲斐々々しうこゝに婦人の眞の美點は遺憾なく表示せられてやがて遠き國のはてに守りする人々のつれない御心をうるほす事だらう

奇怪な流說
愚民を惑はす

義州地方の鮮民間には昨年騷擾勃發以來今後日本紙幣の通用不可能となるべしとの風說盛に行はれたる爲に當時紙幣を以て金塊を買收せしもの多數ありしが今日に至り紙幣は依然として通用するのみならず近來金融逼迫を告ぐる爲め益に買收せし金塊を放賣する者續出し買收當時一匁五圓二三十錢なりしものを現在四圓七八十錢にても放賣するの已むなきに至れり（新義州電話）

小作人表彰
宋子爵家にて

宋子爵家にては此程其郷里たる楊州の小作人二百三十餘名に對し其の小作年限及熟心の程度に應じ夫れ／＼表彰する處あつたるが一等には水田三斗落（約一反半）を與へて直に名義の書き換をなし二等には價格六十五圓の牛一頭を三等には籾五石を四等五人には籾三石宛、五等一人には籾二石宛、六等二十八人、七等二十五人、八、九、十等九十人には名く農具を與へ尙ほ同日は種々馳走をなし慰勞する處ありたりと右に付き

宋子爵曰く 『朝鮮の小作人は實に可哀相なものです何十代と小作をして居つて一斗落の所有さへないのばかりです小作人は地主から見れば大事なものではありませんか謂はゞ子のやうなものでせうそれに何千石と取るやうな地主等も一向小作人の事情は考へずに居るのですからね何しろ小作人が地主から穀物を借りる時には五割と云ふ高い利息が附いてゐるから詰まりません朝鮮も地主對小作人問題は早晩起る問題で今から研究の必要がありませう地主の覺醒を先づ促さねばなりません』

他殺？自殺？
一通の遺書

市内黃金町三の一七五米穀商金定植長男趙中福（二〇）が十九日午前三時頃突然死亡したるが他殺の疑ひあるとの屆出あり本町署では種々調査中二十一日中福宿の遺書らしいものを發見した文中には精神上の苦痛を感じて居たといつて居る處から見れば或は覺悟の自殺らしいと

『年賀郵便』激增

本月十五日より二十日迄六日間に亘る京城郵便局の引受『年賀郵便』物は十三萬二千五十三通で昨年の同期に比べると三割分八厘の增加だと云ふことだ

疾妬の放火
二棟を燒く

楊州郡柴屯面佳良里五〇鍛冶屋車清洙妻李乾娥（三七）は本月十五日午後十一時頃同里四九七黃龍有方に放火し同家を燒き盡くし續いて隣家林順玉方にも延燒烏有に歸せしめたが同地警察で極力犯人搜査の結果二十日前記乾娥を引致取調べしに自己の所爲なる事自白した放火の原因に就き聞くに李の夫車清洙は附近の黃龍有の母朴氏（四〇）と醜關係あるを聞き込み嫉妬に堪へなかつたが十五日夜も夫車清洙が黃方に到り朴氏と同衾中を押へ夫婦口論したがそれでも治まらず嫉妬の焰むら／＼と燃上り遂に兩名を燒き殺さん爲に放火したのであると

新任抱川署長
鍾路署に十餘年勤續した秋吉氏

今回抱川警察署長に任命された鍾路署秋吉警部に祝意を表すれば

『廿一日朝辭令を交付されましたが意外でした在署中は署長始め同僚各位の御指導に依つて大過無きを得ましたが此役は責任益々重大なるを感じます只だ專心職務を全うしたい考へです』

と謙遜して居るが喜びの色は自ら眉宇に現はれてゐた

氏は明治三十九年巡査拜命以來格勤して部長に昇進當時八年警部考試に合格今回警部に昇進抱川署長に任命され本年中には赴任する筈である氏は十餘年間鍾路署衛生係に在つて防疫事務に就ては特別の能力を持つて居た

郵便事務競技 京城郵便局郵便課員は去る二十一、二日の兩日に亘り郵便物區分、押印、等の競技を行つたが成績は非常に好く次第表彰の筈

紹介

都山流尺八指南佐藤令山氏は京城以來南山町二丁目に居を卜し一般好者に敎授しつゝありしが近來漸く盛況を呈し自宅狹隘なるに至りしかば今回同町一丁目二番地（[illegible]）に移轉し一層熱心に敎導の務めに勵すべしと

義太夫花競べ

東野喜笑　藤井唐居　山崎貴若　東內い　山堀江

この五君は新進の人々、喜笑は無論同藝で無い、喜笑は師匠によつて時代世話何れにも向くが、昨年來の前途に上げたが調子がよい、唐居は未だ前途の修業は出來ぬが筋が好いので有望、貴若は節のある聲を有つてゐる、底力のある聲は時代物に適つて仕込めば上達するだらう、いは語り口がよい、堀江は將來語り物を世話時代に選ぶがよい、義太夫の方が息に好い所がある、此の五君が將來何う前途を開拓して行くか疑問だが何れも將來を囑望されてゐる人々であるから方針を定めて前進する事を望む

南山莊情話（8）
みゑ子の戀
苦しみ悶へた學句　水原から南山莊へ　樂しい日の追憶

栗谷とみゑ子と二人の戀が深くなればふかくなる程、みゑ子の借金は嵩むばかりである。又馴染の客はみゑ子に惡い蟲が著いたと聞くと嫉妬と反感から遠ざかるやうになつた。其結果樓主からは毎日のやうに可厭味を云はれたり、仲居からは當付けがましい言葉を投げられたりした。

戀は樞かれるだけ、それだけ激するものである。それからと云ふものは美惠子は殆ど樓主に對しても、仲居に對しても、朋輩に對しても、又馴染の客に對しても傍若無人の振舞に出た。

其後栗谷の父は南鮮地方の某官署の長に榮轉した。栗谷は父の威光を頭に戴いてゐたればこそ、一二三樓から惡い蟲と蔭で罵られてゐながらも、[illegible]接答は浴びせられなかつたが、轉任の後、明かに白い眼で睨まれ二人の戀を隔てやうとする挑戰の態度が著しく露骨となつた。美惠子は意を決した。斯うした水原にいつ迄も不愉快な顔を曝せられるやうな鉛色の日を送つてゐるよりも、假令借金の嵩は殖ゐるにせよ、京城に轉籍した方が、自由に栗谷と逢ふ事が出來ると思ふと、もう／＼一日も一二三樓にゐる氣にはなれなかつた。遂に彼女は人を介して水原を離れ、本年の九月下旬南山莊に轉籍したのである。そして今も栗谷と逢ひ引を續けてゐる。

併し南山莊の裏の松山に、風騷がしい獨り寢の夜半は、逆に在りし日の夢が偲ばれる。懷いと思つたKさん迄懷しい人として面影に現れる。優しかつたKさん、あれだけ深切であつたKさん、その人が何故に自分を裏切つて國香さんと夫婦になつたかと思ふと、その動機が更に分からないだけに、樂かつた甘い追憶は彼の女の心を曇らすのである。

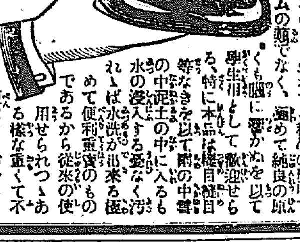
×　×　×　×　×　×

Kさんは國香と新しい家庭を作つて以來、當分の中は世間をも忘れて樂い日を送つた。併し追々國香が所帶に馴れて來ると從ひ、お互が我儘に出るに從ひ、ふとした[illegible]の行き違ひから互ひに爲り合つたり、終日、仇同志のやうに言葉も交へぬ日が屢々繰り返された。

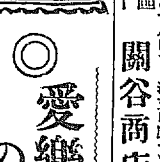
Kさんは思ふ。若し假に國香がみゑ子であつたらどうであらう。斯うした冷かな言葉は互の口を衝いて出ぬであらうものを自分はどうして、其のみゑ子を弊履の如く捨てたかと、甘い昔の戀を思ふと一時の腹立ちから國香に見返つた自分の輕卒な振舞ひが、自らの心を責めるのである。

◆價格至廉◆堅牢無比◆德用向◆
◎最も完全せる 總ゴム靴!!!
晴雨兩用の最適品……

近來皮靴は非常の高値を稱へボックスの極くお粗末なものでも七八圓位する、ソレで二三ケ月しか使用に堪へぬでは甚だ不經濟ではないか、茲に發表する弊店製造に係る精巧無比なる8式總ゴム靴は時代の要求により生れたる科學の發明で從來ありふれたるズック製總ゴムの類でなく、極めて純良の原料のみ以て精製せる總ゴム製なれば其の耐久力は皮靴の三倍を保證し得られ雅趣高尙優美なれば紳士用に適し、價格至廉皮靴の三分一に等しきを以て勞働者向となり步行輕快にして飛び步くも靴に響かぬを以て學生用として歡迎せらる、特に本品は縫目等なきを以て雨の中雪の中泥土の中に入るも水の浸入する憂なく汚れゝば水洗が出來る極めて便利重寶のものであるから從來の使用せられつゝある樣な重くて不便なオーバーシューズを用ふる必要は絶對にない、殊に春先の散步、旅行、運動等に好適の逸品である、特に今回は實物廣告のため五千足を限り左の御値段を以て一足より御注文に應ずる事とせり、御注文の節足袋の文數記しハガキにて御申越あれ



御値段 特四圓二十錢 甲三圓五十錢 乙二圓五十錢 並一圓八十錢（一足にても注文に應ず）
東京市日本橋區本石町一ノ十 關谷商店ゴム部



◎愛樂家の福音
御正月を目の前に舶來樂器が各種着きました
△米國蓄音器 金四拾五圓以上金七百五拾圓迄
△獨逸ヴアイオリン 金七拾圓以上金壹百五拾圓也
△瑞西メトロノーム 金貳拾參圓
△獨逸ハーモニカ 金壹圓八拾錢以上金九圓迄
▲佛國コル子ツト▲佛國クラリ子ツト
◎此ノ外附屬品洋樂書 ◎セノオ樂譜及新小唄近版物新荷
和洋樂器音樂書（目錄進呈）
釘本樂器部 京城本町 電話二八三番 振替六八四番

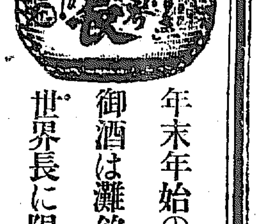
ネッスルミルクフード
小兒 病弱 老衰
お留著様は必ず御勸めになります！ 母乳代用、病弱老衰、產前、產後、催乳！
下記見本券に郵券十錢御送附の方には見本呈上致します。
▲僞物あり…… ▲鳥の巢の商標に御注意
見本券 住所…… 氏名…… 橫濱郵便局私書函三〇四號 ネツスル及アングロスヰス煉乳會社行

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町一丁目 電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務備々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

新荷到著
●朝鮮用特製防寒靴 ●紳士學生用各種特製ゴム底ズック表、裏毛附 販路擴張の爲特價提供
價額一足に付 壹圓廿錢より
MI トン〳〵 神戶エムアイ商會靴部
神戶エム、アイ商會出張所 大邱府弓町二十二番地 振替大阪五〇二四七（本店） 京城八四五七（大邱） 常松商店

最上醬油
龜甲喜 山吉印 醬油は品が好くて値段が安くて御家庭用として最も御德です
釀造元 中央醬油釀造株式會社 京城林町 販賣部 電話一四〇八番

有權商標 菊一 醬
播磨國龍野町 菊一醬油合資會社
播州龍野 淡口醬油 高等御料理用 御吸物用に最好適
朝鮮一手販賣 中央醬油釀造株式會社 京城林町 販賣部 電話一四〇八番



年末年始の御酒は灘銘酒 世界長に限る
朝鮮一手販賣 中央醬油釀造株式會社 京城林町 販賣部 電話一四〇八番

共謀者逮捕 下關で捕はる

下關市大江町港旗亭に潜在中を下關警察署の祕密刑事に檢擧さ中取押へ二十一日一件書類と共に護送されたが事未だ豫審に屬するを以て詳細報道の自由を下關を根據として九州方面より朝鮮に向け爆彈を密送したる事(ご)で共の自白する所に依ればトが一圓四五十錢に賣れ巨利を獲らるべしとて酒太郎の妹にてハツと言へる探して爆彈を手に入れ數回に亘り江口進に送るを待ち居たる所を檢擧せられたるものにて同署にては釜山及び江口進に連累者ある見込にて目下

南洋に碇泊の 我遣洋艦隊へ

し艦隊を追うて南洋方面に急行せしむることになつたが航海中の艦船に內地から石炭を

年末と各方面の景況（三）

料理屋は閑散 年末としては不景氣だ 助興税は殖えたが

不景氣に基因する心細い話題が昨今電車の中でさへ持上る事は頗る殺風景なことゝ云はねばならぬ最も此の不景氣に惱まされてゐるのは春を當込みの

各料理屋 であるが去年より今年にかけてと云ふものは殆ど問題になつて居らぬらしい然るに京城府廳に於ける助興稅の徵收高を見ると八月の線香賣上高が三三三〇八本九月が三六五六七本十月四一一〇五本、十一月が四二〇六八本と云ふ漸を逐うて好況を示してゐる、これは去年の暮から見て約十軒の料理屋營業者が殖えた爲めそれは新料理屋が殖えた爲め

增加して ゐる事に基因して居るので料理屋業者の方面は大した影響はないらしい、處が料理屋側は例年の當込みである銀行會社の忘年會又は個人的な會食等が極めて尠いと云ふ有樣で現に花月邊では二十二日限りで附け込みの宴會は途切れてゐる個人的な會食は新樂營業を開始した花屋位のものが

大關格で 毎夜三組約百人位の客を引受けた。花月は前

飲食店格 であつた二三の料理屋營業者が續出した爲め客筋も自然に稀薄となり一流から二流へと云つた風に段々世の中が細つて行くのらしい現に京城でも一流どころの藝者などがその宴會から貰ひが懸かつて櫃平庵などへぎん／＼車を飛ばすこと、なるので藝者の箱切れは當然の結果で現在の百七八十人の藝者が

新らしい 料理屋の十軒も增加した今日依然として去年通りの通り頗る閑散だと云ふ事で總じて大打擊を蒙つてゐると云ふことが出來る一方最近に於いて料理屋の營業品目が極めて高値で非常に暴利を貪つてゐると云ふ世間の噂に多少の影響が無いでもないらしいが一流所の料理屋が不景氣と云ふのは、一面よりその數を增さないと云ふことは當局此の方面の景氣があまり上らない事を意味するものであらう

松飾りは虛禮だ と云つて廢する向もある

お正月に無くて叶はぬものは門戶の松飾りであるが一般に未だその準備には余裕を持つて居らしく其市中の車輛舗に於ておま意の松飾りをしてゐる位に止まつてゐる、今年はこれ等に要する價格は如何なものであるかと云ふに去年に比し大差はないらしい過般來公設市場で賣り出した物品を見ると七五三飾が一間十二錢三門飾りは二十錢から二十五錢位のもので普通の飾り付けに要する費用は先づ五六十錢の處で揃ふ筈だと云ふ尙此の門飾り物は差し迫つて三十一日の夜に鮮人の賣物を購へば來年に持ち越せないだけに破格な値を以て買ふ事が出來るとも云ふことだ然しながら今年は一般に門飾りを虛禮だと云つた意味に於て全廢する向も尠くないらしい

年末賞與 警察署側の

各官衙銀行其他官廳は既に賞與辭令が交附されて居るが獨り警察署のみ取殘され幾分不平を唱へ乍ら向は當ごも無い取沙汰をして居たが愈二十三日巡査部長以下に賞與金辭令が交附された辭令を握つて喜ぶ者又とかけ切つて居る者も多かつたが本年度は最高本加俸の十四割で三割が普通であるらしい昨年に比較すれば幾分率がよいと云つて居る尙警部補以上は一兩日中になつたさうだ

餅の賃搗 註文殺到

明治町の京城府公設市場では去る廿一日より糯の賃搗を開始したが開來各方面よりの註文殺到の狀態で昨今では全力を集中して賃搗能力の迅速を期してゐるが何分に一日三石として三十日迄に三十石の上は到底搗き切れず自然一般の註文に對して能力を超過する時は止むなく謝絕することゝなるやも知れぬと云つてゐる尙ほ花園町の公設市場に於ても同樣正月餅の賃搗を開始する筈であつたが何分にも設備が整はない以前より同市場は殺到を極めてゐる有樣で上賃搗を開始することなれば一層の狹隘を來すことは目前の事で今年は遺憾乍ら中止することゝなつたさうだ

聖上陛下御恢復 玉體極めて御健やかに 久振で樞府會議へ臨御

天皇陛下には二十二日樞密院會議に臨御ありたり樞密院には近來陛下には臨御あらせられざりしが當日出席の各大官は親しく龍顏を拜し奉るを得たり而して玉體は御健かに亘らせられ健康全く御恢復あらせられたるやに拜承すと右は付宮內官の一人は語る(東京電話)

陛下には其後玉體御健かにして毎日吹上御苑內を御徒歩にて御運動あらせられ時折主馬寮技師近衞將校等の馬術を御覽あらせらるゝ事ありとは國民一般の慶賀に堪へざる次第にして御避寒は侍從の言上により仰出されたるものなり

「僕は國の爲めに海軍大將になる」 內地御遊學中の…… 勇吉公子歸城さる

昨年三月父君殿下の御膝下を離れて遙々東京に遊學せられ優等の御成績を齎らして二年振りて父君に對面あそばさるべく李堈公殿下の御長子で本年十二歲の勇吉公子には遊學李王職員を伴へさせられ二十二日夜歸城された

水原驛まで出迎へた記者が刺を通じて加藤屬の紹介でお目通りすると一足先に飛込んだ乳母の趙氏が嬉し淚に咽び乍ら公子の御手を取つて朝鮮語で『御機嫌よく』と挨拶するのを顧みられた公子は嬉しいのか懷しいのか夫れとも御眠なのかクルリと背て

窓硝子に 息を吹き懸けてはハンカチーフで拭はれる傍に居つた魚大佐が『公子には暖りが惡いのでせう』と鮮語で乳母の手前を辯した。鮮語を用ゆることは御好みなされないこのここで直接內地語を以てお話を交換された。記者が『東京に幾年御在でしたか』と申すと『二年』と

簡明に答 へられる『學校は何年級でありますか』『初等科の四年生』『御學友は澤山居らせられるでせう』『北白川の永久王殿、久邇宮利英王殿夫から井伊さんやら、松平さんやら澤山ありますよ』『公子には將來如何な御希望がありますか』『僕は國の爲めになることだ海軍の大將に成るよ』と殊更に威儀を正しふして語られる其時は記者が

新聞に書 きますからと申上げると『ハハア』と、笑はれた『東京に何日頃御歸り成されますか』『正月の二日頃』と判然答へられて『北白川の永久王様が馬乘せうと言はれたから』と極めて御活潑に恰も馬に乘られたかのやうな英姿を見せられたときに御暇して來た記者は御前を離れて加藤愛育係の

謹話を聞 くに公子は毎朝六時に起床され暫く運動の後朝飯を終へさせ學習院に通學されるのだが午後二時半に御歸邸されて約二時間佐藤囑託の教育を受け入浴後晩餐を濟まして午後八時に就床される御定だそのことである御性質極めて活潑で頭腦明晰で頗る記憶力の強い今春學期試驗にも優等の十二番に御進級されたとのことである、公子は既に貴公子然たる立派な容貌の御方である

出迎の人 々は魚潭大佐乳母趙氏女官其他十餘名で列車內は大層な賑やかであつた午後八時南大門驛に御到着された時は百名近き內鮮人官民の出迎へに一々擧手の禮をして挨拶され學習院初等科第四年生の制服の英姿を自動車に乘せられて李堈公邸に向はれた

歸城された勇吉公子（向つて左の少年が勇吉公子）

二十一歲で辯護士 好成績で試驗に及第

大正三年三月鍾路普通學校一年修學鮮銀に入り大正五年九月辭職の上東上苦學中なりし廣野伸雄氏(石川縣人)は本年辯護士試驗に及第したが然も好成績であつたといふ年齡僅に二十一歲次ぎに辻祿也氏(三重縣人)は明治四十四年三月四日商業學校卒業前に鮮銀に金庫事務に從事せしが大正五年十月辭職東上苦學の後本年の辯護士試驗に及第せりと

馬賊速射砲を 買入るとの噂

馬賊頭目長江好等は鮮人の官憲と結託して東國より速射砲門及兵器五百挺彈丸五百萬發を入し東國浪人と協議の上地方に侵入しそれが受授を地方の撹亂せんとの企ありとの流說あり(奉天特電)

本社主催 全鮮歌留多大會 期日は新春一月十六日 場所は南山町梅の家

吉例に依り新春歌留多季節の序幕開である本社主催の全鮮歌留多大會は明春一月中旬盛大に開催の筈であるが本社は嚮に三越呉服店に調製を依賴した優美な

優勝旗が 愈出來上り廿三日から本町三越呉服店の飾窓に飾られてゐる此新優勝旗爭奪の新春劈頭に於ける歌留多大會が如何に盛況を呈するかは想像に難くない既に十一月下旬頃より斯界の猛者連が猛練習を始めてゐる相であるから恐らく大會迄には更に白熱的

猛練習が 續けられるに違ひない。本社が廿二日午後六時より本社に在城各團體の幹事各位の參集を得て大會に關する諸般の打合せを重ね大會の期日

ピンポンの試合と規則

朝鮮に於ける最初の計畫としてピンポン大會が來る廿七日南山町京城高等女學校講堂に於て開催される筈であるがピンポンは未だ野球程に一般化してゐないとも思はれるので體育協會幹事松村正彥氏の寄稿を乞ふて左にピンポンの規則を掲載する

ピンポン規則

第一條 卓は長さ九呎幅五呎の矩形にして床より二呎六吋の高さを有すべし而して卓面は水平にして光線を反射せざるやう

第二條 『ネツト』の高さは六吋四分の三とす卓面の兩側線の中央に柱を立て『ネツト』を張るべし

第三條 『ボール』は『セルロイド』製にて球狀をなし周圍四吋半乃至四吋八分の五重さ凡そ一匁以內とす

第四條 『ラケツト』の如何なる部分も光線を反射する色に塗るべからず

第五條 『サーブ』せんとして『ラケツト』に當らざりし時は『サーブ』と見做さず少しにても當れば『サーブ』と見做す

第六條 試合中『ボレー』すべからず即ち故意は勿論偶然なりとも球か卓面に觸れざる前に『ラケツト』に當りたるときは一點を失ふ

第七條 相手が用意せざる中になせし『サーブ』は無効とす然れども相手が『サーブ』を打ち返さんと試みたる時は相手は用意なし居たる者と見做す

第八條 次の場合は『レート』となし無効とす

(一)玉が線にあたりてはずたざりし場合

(二)見物人に觸れたる等の事故のため『サーブ』を打ち返し得ざりしとき

(三)玉が線にあたりてはずまざりし時

(四)玉が『ネツト』の支柱を迂回して『ネツト』の高さより以下に入りたる時

但し『ネツト』の高さより高く球が入りたる時は有効とす

(五)卓面に凸凹又は破損ありし爲め正常にはずまざりし時

第九條 『サーバー』が一點を得る場合

(一)相手が『サーブ』の球を『ボレー』したる時

(二)相手が『サーブ』を打ち返し得ざりし時

(三)相手に打ち返したる球が卓面に落ちしとき

第十條 『サーバー』の一點を失ふ場合

(一)相手の打ち返したる球が『ネツト』に觸れて敵領に入らざりしとき

(一)不正當なる『サーブ』をなせし時

(二)相手が球を打ち返し得ざりしとき

(三)打ち返せし球が卓面外に落ちし時

第十一條 其他次の場合は失策せし者が一點を失ふ

(一)球が『ネツト』に觸りて止りたる時

(二)二度以上觸けて球を打ちたる時

(三)球を二度以上卓面に觸けて觸れしめる時(俗に云ふ『セカンドバウンド』なり)

(四)球が『コート』外に落ちる事を防がんため身體衣服にて球を止めたる時(但し卓上に限らず)

(五)球を『ボレー』したる時

(六)『ネツト』又は支柱に『ラケツト』身體衣服を觸れたる時

(七)球を打つ時『ラケツト』を持たざる手を卓上に置きしとき

第十二條 球が逆に『バウンド』して自ら打ちし時

『ネツト』を越ゆたる時は『ネツト』を出し球を打つ事を得但し此際『ネツト』に觸るべからず若し球を打つ事能はざりし時は一點を失ふ

第十三條 球を打つときは『ラケツト』は常に握り居らざるべからず

第十四條 球が『ネツト』或は『支柱』に當りて正常に敵領に入りし時は有效とす但し『サーブ』の時は第八條第一の規定に依る

第十五條 球を打ち返す時は『ラケツト』にて打たざるべからず若し打たずして『ラケツト』の上に球を載せ敵領に落し入れたる時は一點を失ふ

第十六條雜件

(一)卓の兩端には六呎以上の餘地を存せざるべからず

(二)暗き色の著物を著用すべからず

(三)卓の上面は出來得る限り堅き木にて作るべし

(四)卓面は絕對に凹凸なき樣作るべし

淺間山爆發 熔岩熾んに落下し 降灰の爲に天地晦冥

四日以來常に活動を續けつゝありし淺間山は二十二日午後三大爆發あり山麓及び輕井澤方面に多量の降灰あり午後六時半に至り閃々たる電光の如きもの山間に閃くと見る間に火柱轟々たる物凄き響と共に一大噴火をなし天に冲し火は散して煙花の如く火の粉は全山を火の海と化したり最近の大噴火と言はれたる十四日のよりも大なるものにて全山火と見はれたるは未だ甞つて見ざる所なり降灰は二十三日四分なりと云ふ(長野電話)

別報 二十二日午後六時五十八分淺間山大爆發をなし前輕井澤南町中に通行人多く灰粉の吸入を避くる爲め戶を鎖し大地晦冥となり各戶は淺間噴火口より一里の所にては熔岩盛んに落下し爲に火災を發し熾んに燃えつゝあり附近村落は勿論降灰圈內の被害莫大なるものあり(高崎發電)

三千五百尺の映畫を 總督府で試寫 總督府の活動寫眞班が 活動しただけに大好評

朝鮮總督府の官房事業である活動寫眞班は嚮に其製作フ井ルム一卷は大正天皇御即位紀念大典の公開を以て大好評を博したるが引續き鮮內各地で撮影したる分四卷

三千五百尺 を廿二日午後總督府で試寫を行つた情報委員長として水野政務總監以下其他各部局課長多數臨覽したが前回に比して撮映技術も進步し畫面も頗る鮮明であつた津村府の說明で映寫幕に浮かび出た第一卷は大長節の總督官邸開遊會京城神社大祭等は京城の官民が現れる度びに觀覽者側の私語が高まる斯て第三卷迄は

朝鮮の風俗 事情や風景等で或は新舊兩時代を較べたりして或は國境方面の警備狀況等で面白い寫眞であつた第四卷は龍山騎兵式と壯烈を極めた陸軍特別大演習の光景は勇壯の氣人に迫るものが尠くなかつた關係の當局吳氏は語る『未だフ井ルムが整理を濟まないので稍雜然としてゐる今度は前回以上の好成績でした特に陸軍の特別大演習は力を注いで映しました又

東宮殿下の 御英姿をすべて撮影したのは參謀本部撮映の分と共に二本しかない其一本で颯爽たる御英姿を拜し見るのですが今日は未だ宮內省の檢閲を受けてゐないので殘念ながら映寫出來ませんでした近く更に國境方面の冬季の狀態を撮映する筈です』

表彰された人々 優良保線區表彰式

表彰された人々

昨紙所報の通り本年度優良保線區表彰式は二十三日午前十一時より京管局に於て擧行久保局長より優良保線區總代佳良保線區總代はメダルを授けられ又川江工務課長より故岡村技師紀念保線獎勵金を授與されたるが右に付き京管局工務課長川江秀雄氏は欣然として語る今回の優良保線區は金泉、佳良は木浦と決定して本日表彰式を擧行した次第である。金泉保線區主任

幡野君は 非常に職務に熱心な人で常に努力を怠らない朝は未明から身を賤いて線路を檢査し夕は月を踏んで歸ると云ふ風で自分の仕事を全く天職と心得てゐる從つて下は工夫に至る迄幡野君に感化され自分の仕事を唯一の樂みとなし常に成すべきを成してそれで足れりとなし

信念を持 つてゐる木浦も殆ど同樣で此の兩保線區に行くと工夫迄も非常に緊張し而も仕事を樂むだけに何處かに溫か味が籠つて人の心を惹きつけるものがある例へば機關車が列車を運轉すると保線手以下率先してそれに同乘し苦しい線路の惡い所があれば假令それが微細な事でも骨を惜まず直ちに降りて

修繕する と云ふ風であるから少しも事故が起らぬ全線の模範とするに十分である又少しでも暇があると適當に保安しやうと專心の注意を拂つてゐる表彰された人々は非常に多いが其の代表者は次の人々である金泉工務事務所長丸山思作、金泉保線區主任幡野梅二郎、同保線區總代(秋風嶺)田中守、同工夫長總代加藤園太郞、同組頭總代山中健次、大田工務事務所長松山一雄、木浦保線區主任有松平太郞、同保線手總代(木浦)片野直吉、同工夫長總代水見末松、組頭總代大石將造

流感發生 初發以來七十名 平壤聯隊に 小倉より移入

平壤步兵第七十七聯隊にては二十日二十一名の流行性感冒患者突發し引續き廿一日四十名二十二日十名發生し稍重態と認むべきもの十數名は同地衞戍病院に收容隔離せしめたり原因は小倉衞戍地より入隊の初年兵が移入したるものにて昨年に比し症狀は輕微なるも軍醫當局は豫定を忘れ防疫に腐心し居れり輕微なるは豫防接種を受けたるが爲めにして目下併發を認めずと

排日首魁の 歸順申出

排日黨の首魁張春韓民會長尹東喆は參事孟正國と共に磯林支隊司令部に歸順を申出でたり(龍井村發電)

遭難巡査 二名は危篤 一名は死亡

不逞鮮人の爲め重傷を負ひたる大田警察署巡査朴成鳳は二十二日午前五時慈惠病院にて死亡せり又杉山安兩巡査も經過不良益々危險の狀態にあり

演藝

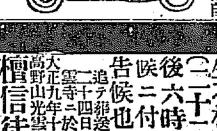
▲壽樂館 廿四日より新寫眞と差替へ ▲實寫『ベスビヤス山噴火の實況』▲滑稽『妻に別れた老紳士』新派悲劇『孤島の花』全五卷 ▲連續活劇『虎の足跡』卷上場 ▲舊劇實說『加藤淸正一代記』全八卷

▲大正館 廿四日より新寫眞と差替へ ▲實寫『蛮政の曲藝』▲喜劇『策略成功』▲新派悲劇『姉と妹』全五卷 ▲冒險活劇『近代の鉄士』全五卷 ▲舊劇『中將姬』全六卷

▲紳士的新職業▼ 男女 拾八歲以上

▲學力小學卒業程度自宅で ▲居ながら立身が出來る 裸一貫無資力で成功できる今日文明の生んだ紳士的新職業は自動車運轉手である今回會員を內務省令の資格を得られる樣東西を通じて速成教授す此東西を通じて多數ある廣告は日本で最も權威ある男女拾八歲以上年齡を不問小學卒業程度の人は見本今スグハガキで申込は無代進呈す 規則書

○東京牛込區通寺町廿二 東洋自動車協會事務所



當院住職金武順道儀永々病氣之處養生不相叶本日(二十二日)午後六時遷化致候ニ付此段謹告候也

追テ葬送之儀ハ來ル二十四日午後貳時光雲寺ニ於テ執行致候

大正九年十二月廿二日

高野山光雲寺 檀信徒總代

專賣 特許 ナショナル精米機

賜宮內省御買上之光榮

賜李王職御買上之光榮

自動唐箕附

(本機は絕對模造を許さざる權威ある特許權を有す)

(說明書無代進呈)

(定休日、日曜日、大祭日)

發賣元 東京淺草區南元町二六 合資會社 精工商店

特約販賣店 京城府南大門通二丁目 角一商店

(唐箕附ナショナルは外に類似品あり御注意)

移轉御披露

謹啓貴家益々御淸榮の段奉慶賀候陳者小店儀多年御愛顧を蒙り御庇蔭を以て業務日に隆盛に趣き候段難有奉深謝候隨て從來の店舖にては手狹にて萬事不便を相感候に付今般左記の處に移轉仕り猶一層業務の擴張を謀り專ら勤勉誠實を旨とし各位の御厚情に酬ひ度候間何卒倍舊御愛顧の程奉希上候 敬具

朝鮮 大正九年十二月號

一部定價卅錢(郵稅金貳錢) 廣告料一頁金七十圓 (販賣所)內地各書店

○口繪 ○總督諭告 ○教育令改正に就て 柴田學務局長 ○全鮮實業大會に臨みて 水野政務總監 ○朝鮮に於ける專用鐵道 和田鐵道部長 ○國民衞生とチブス豫防 志賀醫學博士 ○石炭問題と粉末燃法(承前) 商工課 牧山技師 ○住宅改善(下) 營繕課 鳥井技師 ○請負工事費部分拂の性質及所有權の移轉時期に就て 會計課 太田 ○高麗村に關する事共 ○朝鮮の蜜蜂 農務課 吉田 ○田舍の經濟的變化 荻原 ○大正九年誌 小春雅集 ○明治神宮鎮座祭遙拜式 ○朝鮮の獻上品 ○附錄

慶安太平記

小金井芦洲講演

第五十一席

聞て忠彌の前へ出るこ坪内作馬、いこも丁寧に首を垂れて一禮に及び 作『エ、好き折柄に初めて御意を得申す、手前は道場張孔堂由井先生にお取立てを戴く坪内作馬こ申します、聊かながら寶藏院流高田派の槍術を嗜んで居ります、されば豫て丸橋先生の御尊名は雷鳴の如くに承知をいたして居りましたが、御昵懇に接することが出來まするは、手前何よりの仕合せ、何卒お手柔かに御妙手を以て御教授を戴きたう存じまする』 忠『イヤ申遅れたが、本郷お茶の水に住居をいたす丸橋忠彌泰盛澄、今日は張孔堂一手權雄を決する存念で參つたるが、何か當道場の掟こあつて、直々には正雪殿が試合はせぬこある、夫れ故に門人三名だけの立合を承諾いたしたる、に第一番に貴公が向ふ、成程貴公が云はつしやる通り好き折柄だ、一つ腕の折れるまで向はつしやい 作『畏まりました』 忠『好いか好ければサア來い 作『ハイこ双方後へ下がつて 忠『イザ 作『イザこ掛聲も勇ましく、その中に忠彌が取れる端線付いたる寶藏院流稽古の管鎗、使用者は當時日本一の世評のある丸橋忠彌泰盛澄天晴なもので、九尺柄であるが繰出す時は二間三間の長柄の鎗こも見ねる繰戻す時は二尺三尺の短な棒こしか思へないごうも變幻微妙の早術、アッこ言ふ間もない位で、人間は少し短氣ではあるけれごも、何しろ槍を取つては天下の隨一こまで世間で噂をするのは、これでは無理もない、實に上手なものである、突けば流星火、戻せば飛鳥の如し、大體拾こ云ふものてあつたるが、ヒョイこ二足三足下がつたかこ思ふこ、ピタッこ中段に身構へをいたした、一方の坪内作馬は最前より忠彌の樣子を見て心の中に驚いた、向ふに立つて、まだ位取を備へない中から呑まれて仕舞つたが、旣に向ふがチャンこ身構へをいたしたから、同じく作馬も中段に位を取つて『エッ』『ヤッ』こ双方共に氣合は掛つたが、ごうも武藝こいふものは、一枚上の人が向ふに廻つて『ヤアッ』こ氣合を掛られるこ不可ない、[illegible]當方から掛る氣合の先[illegible]る、如何にしたつて敵[illegible]のではない、暫時は呼吸を計つて身構へをして居つたが、如何なる隙のあつたるか 作『アイッ 坪内が繰出して來た槍先、元よ[illegible]

は突き込むにしても繰戻すにしても却々難かしい、それぐこ方法があるものですが、殊に突き込む時よりは繰戻す時こ云ふこ格別にこれが難かしい、ビューッこ繰出した鎗を寸隙も異れずして、ヒョイッこ繰戻すその瞬間の早術が出來なければ鎗の名人ではない、尤も武藝は鎗ばかりではない、私共の世渡りでもさうでございまして、矢張り遣り繰が肝腎なんで、これが上手に行かんこ、始終不都合だらけ、何方にしてもやりこ名の付いたものは難かしいものです、餘談になつて相濟みませぬが、忠彌は充分に拔いで腕を馴らし一方槍にかけては相當に覺ゑがあるのですから、流石に旨い、脇で見て居る門弟もごうなるかこ思ふ間もあらず 忠『ヤッこ受ける氣合が掛るこ忠彌が繰出しましたが、ガラ〳〵こ槍揣みこなつて了つた、迚も坪内作馬の腕では丸橋には及びませぬ、忠彌の爲に到頭突入つた槍を摘み落されて仕舞つたんで後へ退つて 作『參りました』こビッショリなつた面上の汗を拭ひながら引下る、見て居りました由井正雪を初め、一同の門弟何れも感嘆措かず、ごうも大したものだこ忠彌の出來るには致服をいたしました。

料理 南山荘 電話一五三[illegible]番

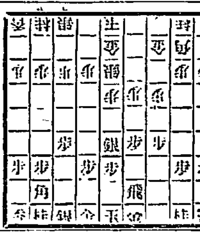
金鍋 寄鍋 料理 會席 仕出し 本町 [illegible]

將棋新手合(一)

於京城黄金町三丁目三二五 溝呂木將棋所

飛香落 六段 ▲溝呂木光治（京城）
初段 △桑尾銀之助（京城）

（圖は三六歩迄の局面） △持駒 桑尾氏ナシ



▲三四歩△七六歩▲四四歩△四六歩▲三二金△四八銀▲四二銀二金△四七銀▲五四歩△五六銀▲五二金△四八飛▲五三銀△三六歩（イ）▲四三金右△六八玉▲六二玉△七八玉▲七二玉△二六歩（ロ）▲六二銀△一六歩▲九四歩（以下次號）

溝呂木六段講評

△（イ）三六歩は緩慢 り此處四五歩四三金右二六歩こ指すべし
△（ロ）二六歩は早し此處六八金こ玉の側を固むる方優れり

金剛飴

曆 十二月廿五日

舊十一月十六日 ▲土曜日 ▲丁巳 ▲七赤 ▲暗劍西方 ▲友引 ▲柳 宿▲執

▲滿月（午後九時三十分）

▼七赤▲出過ぎては損た、愼みの一字を守りさへせば無事の日
▼八白▲迷ひを去つて誠實に勵けば幸ひ自ら到る日待人來る
▼九紫▲運氣十分ならず表面よく見ねて却つて內實は苦しき日
▼一白▲進むより退くに利訪問金談約束事の不利に終り易き日
▼二黑▲諸事成功の日進むほご有利也し口論こ遊興を愼むべし
▼三碧▲思ひ違ひから破れを來す日大事は午前中に片付けて吉
▼四綠▲概して利得には疎き日なるも辛抱せば落付は出て來る
▼五黄▲首尾よく目的は達するも散財多く愼み守りて進むに吉
▼六白▲[illegible]

先月荷動概況（二）京城鐵道局調査

十一月中に於ける朝鮮線（[illegible]）[illegible]噸（四分增）を合せ二萬八千三百五[illegible]せて取引米又好況を呈して荷動を見て市況沈靜して未だ大口の取引を見[illegible]四分增）を增加せり之を要するに前[illegible]るに至り殊に輸出稍々活氣を呈し來るに至らず就中安東を中心とせる豆[illegible]年同期に比し雜穀品は一割七分減[illegible]殺の如きは前年同期と大差を見ざるに粕の如きは財界の不況と生糸及穀價少なし此の荷動は[illegible]至らずして上半月の不振を緩和する[illegible]の暴落に伴ひ之が需要を喚起するに[illegible]至らざる等により前年に比し九割二[illegible]減を示す）

品名	本年度	比較增減
石炭	三二、一五七	△三、〇〇七
米	[illegible]	[illegible]
金屬製品	五、八五三	一、一六四
新炭	五〇一	△八二
鹽	二、二八	△一二三
干魚	二、八八	△三六〇
[illegible]	一、六五五	九四
其他	二八、三九一	△九、九七〇
特殊品計	一六、九二二	△三、四五一
社用品	九、九二三	四、四七六
合計	二六六、四四〇	二、一六五

石炭 [illegible]常に本品の首位を占め[illegible]調なりしにより前年同期に比し大差を見ざりき彼[illegible]の主なるものは 安東 美林 九〇七二 [illegible]

米 前項記載せるが如く上半に於いて收穫稍々遲れ氣味なりしと穀價の軟調なるとにより前年同期に[illegible]等にして著進の主なるものは及之が數量を示せば次の如し

驛名 數量 [illegible]

聯隊長來田 民野第八[illegible]したるが太田官民有志は有[illegible]をなしたり

懷中要藥 清心丹

一、船車、宴會、集會、雜閙の場所の不快
一、過酒、過食、食アタリ、嘔吐、下痢
一、風土變り、時候アタリ、水アタリ
一、心身鬱陶、疲勞、倦怠の時元氣を増す
一、口中を清涼にし氣分を爽快にす
一、運動競走音聲を使ふ時咽喉を潤す
一、飲食後に常用せば消化を進め胃腸を健全にし惡疫に侵されにくし

振替口座東京四六八 東京日本橋元大阪町 高木與兵衞

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衞生無害

製造元 攝津御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田合名會社 電話一三七番 振替京城四二九番

◇大に働き大に遊ぶは人生無上の樂

夜の樂み 天下一品
男女 色草紙
新婚の當夜
男女 交遊法
男女 粹草紙
戀愛期に入れる少女

右六冊同時なら密送料共六圓五十錢切手代用八圓但前金 東京神田西小川町 振東三八九九〇 春風社

贈答用・御用 トリスウヰスキー

多の酒は 接客用としても 保溫用としても
是非 トリスのホットウヰスキーでなくては
ならぬやうに 世はもう進んで來て居ります

代理店 祭原商店

陸軍拂下被服

京城府北米倉町四九 村上商店

世界一の中將湯

女王樣の召す藥

効けばこそ！

不思議に身體が溫まり
魔法のやうに婦人の
病苦を忘れる、世にも
靈妙な効能あればこそ
中將湯は
各國の貴女が召す

中將湯主効：血の道、子宮病／腰足冷込、ヒステリイ／內膜炎、白帶下／產前產後、不眠症

東京市日本橋通四丁目 津村順天堂 大阪市堺筋大寶寺町

可愛い御子供衆の爲めに

誰方でも今日此頃の
寒い風冷い水に觸れると
肌アレ、ヒビ、霜燒け
などが出來て困るもので御座います
其時にはホーカー液を常用するのが
何より一番よく効能があります
最も簡便且つ完全に初冬の肌を保護する

東京で一番良く賣れる

ホーカー液

ほんのりこ自然らしい白さ美しさこなる
日ヤケ肌アレの害を絶對完全にふせぎ
白粉下トキ水によくノリノビツキを好し
紳士の髭ソリ後に適し子供の肌を丈夫にす

■全國到る處の信用ある化粧品小間物店藥品部にあり品切の節は振替又は三錢切手にて直接御注文を乞ふ

定價 大一圓十五錢 中五十八錢 小二十八錢 送料內地六錢

東京神田和泉橋際 ホーカー化粧品本舖 堀越嘉太郎商店 電話神田一四三、一四四、一四五 振替口座東京一五六
ホーカー王子化學研究所 電話小石川三六三一、王子一二七

西藏問題交渉再び開始

支那側の消息によれば英國公使は西藏問題に關し本國政府の訓令に依り支那政府に交渉を再開

浦鹽議會改稱

浦鹽國民議會は從來臨時極東議會と稱せられ居たるも十一月十八日……

千五百萬圓　內務省に對し各府縣より申請したる災害復舊費は總額三千七百萬圓に達し超過見込額は……

鐵道省に屬する高等官の十二月定期進級は此程調査終了したるが進級者は百六十名にして內本省直屬のもの二十名あり來る二……

東京奈良廣島の三高等師範學校附屬小學校に於ける初等教育研究會冬期講習會は來る十二月二……

仁取仲買の手數料問題凝議

仁川米豆取引所仲買人は取引所對仲買人の手數料問題其他の緊急要議に就て廿二日午後六時から取引所樓上に仲買組合の總會を開いた、協議事項は第一取引所と仲買人との手數料徵收步合の變更並に手數料の引上げ　第二仲買の身元保證金問題第三か仲買人の營員意嚮に對する反對聲明第四課稅問題の對應策など種々あるが何れも現今の仲買の業務狀態から推して利益增進と云ふよりも寧ろ營業擁護と云ふ立場から頗る重大なる問題にて當議されつゝある押しなべて仲買自體の經營難と云ふ樣な泣言は別として大丸取引所と仲買店とが共の徵收する手數料を折半するなどは世界何れの處にも其例がない勿論內地市場には之を見る事が出來ぬと云ふのであるから之に相當改正を加へ同時に又近く賦課さるゝと云ふ取引所稅に對して仲買人の負擔すべき稅率に對して相當手數料の引上げを要求すると云ふのである第二の身元保證金增加の如きは此の金融機關窮迫の折柄不斷打擊があるのみならず取引所は果して左樣にあくの保證金を徵收しなければ實際に於て危險であるか什うか第三の仲買員に對して一部重役の態度は極めて遺憾であるが萬一斯る事態から觀て此の以上の增加は仲買なして共倒れの危險に陷らしむるものであると反對しなければならぬと云ふのである其他第四の課稅に對する態度の如き未だ賦課方法が聞明でないが若し萬一取引所が……課稅打擊を蒙るから手數料收入に對する課稅を要望するか共他適當の方法を講究しようと云ふのである之等の成行が果して如何なるか（仁川）

銀塊落付

二十一日の銀塊相場は稍々落付き保合を報ぜり倫敦日發表銀塊相場は六十二仙半と成り三仙方引緊まれり（倫敦電報）

棉花軟弱

棉花市場は引續き軟弱にて一月限り十四仙七十八まで五十點方低落せり（紐育電報）

財界閑話

▲李王職美術品製作所の拂下げ運動は某々氏等により餘程進んだやの說もあるが▲李更に聞いて見ると李王職に何等同所を拂下げる意向なく所謂運動云々も火のない所に立つた煙に過ぎぬ要略の責任者は打消してゐる▲廿二日夜京喜久で京銀の清算終了宴を開いた宴に先立ち碁將棋戰をやつたが古城實銀頭取一等賞▲爾引になると金勝の力士と云ふのを捕へて土つかずのスリべをきる▲重ねく～で頭取大ニコノ～六十歲つになつて一等賞の受領は初めてだと喜んでゐた▲中村理事君の挨拶に對し中西▲京銀は現銀の解散……法人の死は自然人の死と同樣悲しむべきを通例とすれど▲京銀は實銀と云ふ立派な養子を迎へての他界だからお目出度いとは當銀▲山口太兵衞老は『中村君から、實銀も京銀同樣御引立てをと申しましたが資本金の述つたやうに五倍程の引立てをお願ひします▲古城實銀更に起つて『今夜は京銀の清算宴であり實銀の忘年宴と思し召して下さい』はヌタメなか

株式（前場）

前場薄商內

引續く歲末に人氣いじけ氣味あり高見の利喰ひ賣りに非常賣ひにて京取は二十二圓三十錢と何事に寄附き二カイ三ヤリ四ヤリを繰返しつゝ二の廻り他に大引け共に三十錢を追かす強新變らず仁取九十錢方高、郵船初頭は四十五圓より四圓九十錢東鐵入船より七圓八十錢と見たれ相場を出し安取亦アト安く商內振はざりき

後場も閑散

後場も商內閑散京取は二十二圓三十錢に寄付き後と同事にて釘付不動に大引鮮銀三十四二十錢朝新十三圓十錢に滿鮮二十二圓八十錢東亞六十三圓二十錢に手合せあり賣買双方共に我前待ち依然見送の態度なり

京取强氣觀　初相場期待

京取は既報の如く出來高の增加と共に高值見直し來り更に二十四日の總會にて信託會社の創立を決せば一層好良の業績を示さん模樣なり二十一圓臺は買物頻集せらるしく相場は二十圓臺を堅く維持し稍もすれば上向かん模樣あり斯株の如き投機株は年五分の利廻りに買ひ十分と見て可なり果して然ば即今の業績より見て年一割の配當は十分見込みあるに於ては二十五圓までは買ひ餘地ありとの唱へあり唯年內ば到底ダメならんも越年后の新春相場は屠蘇機嫌も加り一沸騰を來すべしと强氣筋は主張しつゝあり

安取賣物勝ち

安取株は三割配當確定の見込にて且つ諸問の新計畫を有し居るため前途に有望株なれど何分安東現在の財界は金融逼迫極度にて有望株も居れず金に代るべきものゝ代へん傾向あるにつき賣物地場より少なからず出で相場の不勢を來したるが十五圓臺は最早や底入れと見て可なるべし之の所多少此邊にて年を越せば初春相場は案外底堅く過さんかと云ふ

殖鐵賣物多し

殖鐵株は一時九圓近くまでせり上げしも最近同社殺開發と反對に與晩の賣物あり本前場は八圓より七圓八十錢と押され目先一段安の模樣ありたり

東亞新高模樣

東亞煙草新株は導賈確定と共に仲介賣物ひそみ買物弗々あり二十八圓は今朝も買物あれど更に賣り摩を聞かず目先一段高を期待さる

京取株主減少

當期中京取の名義替へは三萬七百七株にて半數を越へ創立當時の株主七千二百五十六人は期末現在四千八百八十人と二千三百人を減じ居れり

主要株步み值段

	京取（前場）	安取（前場）		京取（後場）	安取（後場）
	二二、三〇	一六、〇〇		二二、三〇	一五、八〇
	二二、三〇	一六、〇〇		二二、二五	一五、九〇

甲乙高 出來高　京取 八百枚　安取 三百八十枚
累計　京取 七萬千二百八十枚　安取 四千九百七十四枚

京城現株市場出來值（廿二日）

銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場
京取 引寄	二二、三〇	二二、三〇	商銀 引寄	…	…	京電 引寄	…	…
殖新 引寄	三、〇〇	…	同新 引寄	…	…	同新 引寄	…	…
東新 引寄	…	…	殖銀 引寄	…	…	電興 引寄	…	…
拓新 引寄	…	…	同新 引寄	…	…	東電 引寄	…	…
亞新 引寄	…	…	朝鐵 引寄	…	…	朝燐 引寄	…	…
仁取 引寄	三三、〇〇	…	東拓 引寄	…	…	朝郵 引寄	…	…
鮮銀 引寄	…	三四、三〇	鮮土 引寄	…	…	殖鐵 引寄	八、〇〇 七、八〇	…
同新 引寄	…	…	朝紡 引寄	…	…	中鐵 引寄	…	…
殖銀 引寄	四四、〇〇 四四、五〇	…	滿毛 引寄	三、一〇	二、〇〇	滿鐵 引寄	…	…
實銀 引寄	…	…				同新 引寄	…	…

株式閑散

二十一日株式市場は閑散保合上當月限り四十六兩半（同事）日華紡績三十三兩半兩安：綿糸水月組合百四十三兩（同事）對日爲替七十兩（同事）となれり（上海電報）

朝郵株不勢

朝郵株は前期八分配當のため氣を腐らし居れるが當期配當も海運界不況の際とて八分以上見込まれず其の操算より氣配よからず前期は二十九圓臺へなりしが海運株不況の折柄ゼロなきも次第ならん

○京阪金利　二十二日現在左の如し
	東京	大阪
コール	一〇、〇〇	一五、〇〇
無條件	一七、〇〇	一八、〇〇
翌日物	二〇、〇〇	…
六十日物 普通步合	…	三〇、〇〇

川仁　米期

仁川米豆取引所仲買人　那須仲買店　海岸通三丁目　電話長三一七、七六、又八〇一〇

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　電話長六〇二番　略號ニンセンイリヤマ

仁川米豆取引所仲買人　北　仲買店　本店電話一七二二七二八

前場內氣配

二十三日前場內氣配は左の如し朝郵二十九圓買▲中央三十九圓買▲滿鐵百二圓ヤリ百圓ドタ買▲東拓新十三圓七十錢買四圓賣東亞ヤリ▲東拓新十三圓七十錢八十錢大新六十三圓カイ六十三圓八十錢賣十四圓ヤリ▲同新二十八圓買▲仁取四十圓新五十圓買▲朝鮮銀八圓三十錢買八圓五十錢ヤリ▲東亞新六十二圓五十錢買

前場の乙部

前場の乙部は依然閑散にて京取殖株二十二圓安取十六圓より十五圓九十錢とゆるみたる外大株新に賣買の聲ありたり

後場の乙部

後場は安取十五圓九十錢より八十錢大新六十四圓上取七十一圓にて商內ありしが場況閑散

京取の手口

二十三日後場より三十三日前場に至る京取手に左の如し
（賣方）白井一四〇▲吉見七〇▲田中一〇〇▲大島一〇△櫻谷二〇▲新田五〇▲方一〇▲古賀二〇▲中澤留三〇▲洪一三〇
（買方）二四〇▲吉見三〇▲田中一〇▲櫻谷三〇▲方六〇▲井口五〇三好三〇▲中澤留一一〇

後場內氣配

二十三日後場の內氣配左の如し鮮銀二十二圓四十錢買六十錢賣▲東拓新十三圓七十錢買四圓賣▲東拓新二十八圓買▲仁取四十圓▲朝鮮銀八十圓買

本日の出來高

二十三日受渡總株數は五百十株代金一萬二千三百九十圓なり

兜町だより

郵船鐘紡東株の主力株には殺て何の變化も見ず昧もシャシャリも無い相場だが流行兒の石油には越後筋を首めとし有力の買物が目に立つた▲石油株のお氣株は頃日何となく動き足が見えて居たが結局遂に爆發した▲先陣を承る大の者は過般來月送されて居た電氣はみとのは中電で之には增配も噂された入れられて居るが兎に角外の事業と違い財界の動亂にも格別の影響を蒙らないのに相場は玉石同架に投げ崩されて居る代物だから時節が來れば買はれるのは當然▲石油は國防上にかけるが如く產業上の最大要素たる電氣が國運の進展と共に大問題となるのは知れ切つた話である石油株に瓦ぐ人氣株として電氣株が活躍するの仕手は大勢の赴く所である電氣株が來たのであらう▲兎に角株界の代が來た時代が來たのであらう目的も氣が立つと案外の相場を作りに……

東京現株特電

銘柄	廿三日前場	廿二日後場
鮮銀	一三〇、〇〇	一二一、〇〇
同新	一三三、〇〇	一三三、〇〇
東拓	四六、〇〇	四六、〇〇
同新	一〇、二五	一〇、二五
滿鐵	一二、五〇	一二、五〇
同新	一六、〇〇	一六、〇〇
殖銀	一四、三〇	一四、三〇
同新	一二、三〇	一二、三〇
東株	一二、三〇	一二、三〇
同新	二五、五〇	二五、五〇
連取	七五、〇〇	七四、〇〇
滿毛	三六、五〇	三六、五〇
朝紡	一四、〇〇	一四、〇〇
滿糖	二〇、〇〇	二〇、〇〇
日紡	八七、〇〇	八七、〇〇

大阪株式特電

銘柄	二十三日前場寄付	二十二日後場大引
大株	一八七、〇〇	一八一、〇〇
郵船	一三九、〇〇	一三九、八〇
同新	五三、〇〇	五三、五〇
商船	六八、〇〇	…
同新	二一八、〇〇	二一八、〇〇
鐘紡	二三九、〇〇	二三九、〇〇
同新	二一九、〇〇	二一九、〇〇
東紡	一二七、〇〇	一二七、〇〇
東新	七〇、〇〇	…
上取	六八、九〇	六七、五〇

安東株式特電

銘柄	二十三日前場引	二十三日後場寄付
大株	一三九、七〇	…
郵船	五三、一〇	…
商船	六八、〇〇	…
同新	二一八、〇〇	…
鐘紡	二三五、〇〇	…
同紡	二〇九、〇〇	…
東紡	二三、〇〇	…
東新	七〇、〇〇	…
上取	七〇、〇〇	…

○二十三日　安取　寄付　一五、六〇　大引　一六、一〇
當先　一六、四〇　一六、五〇

大連株式特電

○二十二日　連取　寄付　三六、二〇　止め　三六、三〇
當先　三六、六〇　三六、七〇

株界片々

京取の當期決算は朝鮮殖産組合一萬八千圓を見込んで居るが同代しょらし▲此內の株券印刷代や株式公手數料を含んで居るさうな▲矢張り株屋の三日の立會もりた持ストップの勢が手の先生につて居るが少しもそ株に手を出さずに掛け聲だけで商內なしでかりこ少しもあつ▲股室に設備なせれば困る▲歲末の防賣店主連の面は殆んど見へぬ▲二輪の川口君のマジメな面があるばかり▲それもチョイさの間に消へてゐた▲市場の敷地は八百八十坪で四十六萬圓に計上してある▲一坪五十圓平均だから高い方ではあるまい

米況（後場）

仁川期米　二十三日前場

四十丁の上放

昨夜場の引際又復阪地の高報りと共に好く賣ひて七十二錢と陞上げ七十錢と好勢望に打止め新節跡系名の夕場高に各地一齊の氣先高ん入りて今朝は盆々人氣建聽し立會ば成行買の旺盛裡に立會中出來ざるが先二十一圓十錢と四十丁寄付きたり
▲第二節　中二十一圓十錢先二十錢同事に始め更に七錢と迎りせしも二十七四十……
▲第三節……
▲第四節……
▲第五節……
▲第六節……

場面根强し

頃日來の保合ひより二百丁に近き品騰を示し而して押目らしき反落なし……

移出白行悩へ

移出白米注文は報の如く九州方面は昨二十八圓五十錢處迄買望み來りたるも昨午後以來行悩へ模樣を呈し大阪は沖荷の二十七圓五十錢處の指值入電なりき

後場下押す

現在當限中限先限　七千百石三萬九千三百石十千百石　二十八萬八千四百石　千二百四十萬一千七百石

▲第一節　大阪前から二十七四十……
▲第二節……先二十一圓十二錢より二十錢と吹出せしも二圓剩れの九……

期米雜觀

米價暴落の防止策として我國の農家が不賣同盟を組織して騒ぎ立つゝあるに共手たる鮮農に於いても夫れに類似した同盟會か組織して富援の關係を有する東拓や殖銀へ救濟資金の融通を申込むの頗々たるのは無理もあるまいが……

年末一段落平

大納會の切迫と共に買方有力者の投により共根底を搖されたる軟派も阪地の仲鈍狀の關係より一氣に飛過ぎると雖前日來の急騰により反騰は略ゝ當然……

內地正米一段高

不賣同盟の成力を受けて前月來株緩りを呈せし內地正米は定期の續騰と相呼應して一段氣配が高めし……

京城穀物延取引

玄米　久しく氣乘り薄なりし市場も定期の續騰を受けて今朝は一變し大に人氣を引立て一般が漸く先高見越しに一致し一時の先行き不安の念が……

大豆　人氣上向き發中期正米の漸騰に伴ひ……

前場商內

	一月末限	二月中限	二月末限
玄米	百石二一、五〇▲四	百石二一、五〇▲	…

平均值段　二十一圓五十四錢

取組高

	玄米	白米	大豆
十二月中	三〇〇石	一〇〇石	一〇〇石
十二月末	九〇〇石	一〇〇石	一〇〇石
一月中	…	…	…

賣買差引殘

……

京城正米市場

當物は弗々なきにあらざるも定期の續騰不賣同盟の強化等にせる荷主の態度强硬にして安值は荷主に賣應ぜず高值は精米筋買望へ方針なるも自然市勢高に氣引引結ばれんとする傾きにて今朝は地摺上玄三十二圓三十錢と二十錢方の引締め告げ眼先益々堅調を帶びつゝあり

白米引締む

精白は內地白米先又相當割りたる契約あり上原料減卸高潮に向ひたるを以て玆精米筋は何れも賣腰强く市中値は五十七錢高の二十五圓五十錢より二十六圓の聞を唱へ居れり

仁川正米

定期の急騰に手持筋賣惜みさなりし正米は朝來更に强硬を呈し地摺玄米二十一圓三十錢▲三等合格二十二圓八十錢見當を唱へ前日より一圓高を告げたるが合格品は品薄の爲め取引皆無なり

	值段			
前場廿二日	寄付	止値	高値	安値
後場廿二日	…	…	…	…

釜山正米特電

內地各地に亘り不賣同盟說喧傳せらるゝや各市場人氣引締り當市場亦其の影響を受けて氣配强硬　五六十錢高の萬力二十三圓十五錢、殺良二十四圓にて六千九百叺の商內ありたり（二十三日）

大阪期米特電

○二十三日前場
當限寄付	二七、八九
中限寄付	二七、七九
先限寄付	二七、六〇

東京期米特電

○二十三日前場
	寄付		
當限	二七、八九		二七、五二
中限	二七、七八		二七、八〇
先限	二七、六〇		二七、一二

下關期米特電

○二十三日前場　當限　中限　先限　寄付　止め　後場　寄付　止め

各地期米特電

○二十二日後場止め
東京	二七、一九	大阪	二七、五〇
兵庫	二七、三〇	下關	二五、三九
桑名	二七、〇〇	名古屋	二七、五〇
熊本	二八、〇二	金澤	二六、一五

大阪三品特電

○二十三日前場寄付　前場大引

	寄付	大引
十二月限	三六、〇〇	三六、二〇
一月限	三七、〇〇	三七、二〇
二月限	三〇、〇〇	三〇、二〇
三月限	三三、〇〇	三三、二〇
四月限	三四、〇〇	三四、二〇
五月限	三五、〇〇	三五、二〇

大阪堂島米穀取引所仲買人　の　野田商店　大阪堂島濱通一丁目　電話北……

細叺の元祖　南全榮山浦細叺　朝鮮株式會社　出張所　元山、旭町、釜山、松汀里、長城、羅州、成平、鶴橋、光州、朝鮮產內地在庫調濟

流感　に御注意!!　少しでも熱出で風邪の心地した時は……中毒作用なく服みよく一番よくきく評判の　妙守　を即座に服用せられよ
▲ぞつと惡寒を感じた時▲急に發熱を感じた時▲腰の冷込む時▲頭痛眩暈の逆上する時▲喉の痛む時▲咳から起る諸病時▲鼻風邪にて水鼻汁の出る時▲何となく感冒の心地する時には是非
定價一圓、二十錢、五十錢、二圓
賣丹本舖　東京下谷池の端仲町廿七　守田治兵衛
全國各地有名藥店にあり

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
當る十二月廿四日より掉尾の大寫眞
電話八七三　大正館
新派悲劇『姉と妹』全五卷　山本、藤野、東、衣笠一派總出演に掾
大活劇『近代の銃士』全五卷
大阪每日新聞所載
日活向島派大傑作
日活京都派第一部長

當る十二月廿四日より本年掉尾特別大興行
新派　孤島の花　全五卷
活劇　虎の足跡　全四卷
實錄　加藤清正公　全八卷
◎懸賞投書募集◎

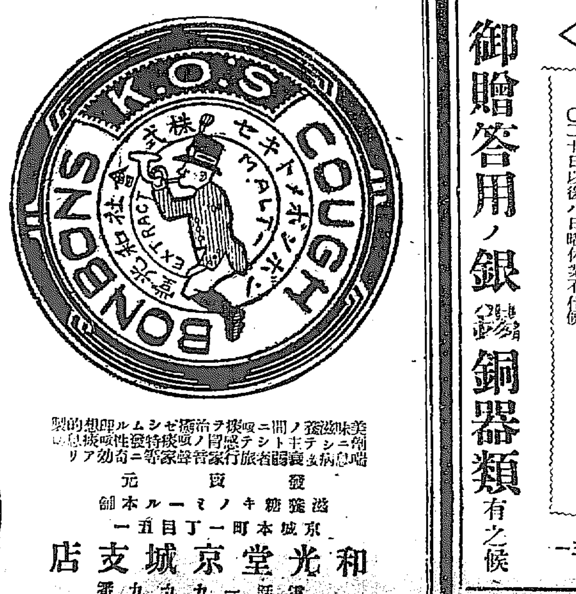
日活直營　喜樂館　電話五九七番

黃金館　電話一六六七

當る十二月廿六日より上場
散る花咲く花　全四卷
魔人　全十六篇三十三卷
觀音丹治　全五卷
第三回當籤番號

廿四日より　掉尾の封切大寫眞提供　市川姉藏劇　中將姬
近代の銃士　姉と妹
大正館　喜樂館

本年掉尾特別大興行　孤島の花　虎の足跡　加藤清正公一代記　……

滋養痰咳特効藥

K.O.S. COUGH BONBONS
發賣元　滋強糖キノミール本舖
京城本町一丁目一五一
和光堂京城支店
電話一九九九番

來ル貳拾日ヨリ卅一日迄
本年最后ノ御禮トシテ特價品提供
寫眞部
イーストマンベスト　特價金拾九圓五拾錢
アンスコスピーデツクス三號F七五レンズ付ブローニー形寫眞機
寫眞機ハお正月ノ娛樂用トシテ御贈答ニハ最適當ニ御座候　特價金七拾四圓五拾錢
時計部
紳士用　瑞西機械拾八金拾六形　特價金參拾五圓五拾錢
貴婦人用　米國ウオルサム會社製　特價金六拾參圓六拾錢
腕時計　特價金參拾七圓八拾錢
自轉車部
ローニー號自轉車　一台　特價金六拾五圓
カーチス號自轉車　一台　特價金六拾圓
其他附屬品ハ特ニ安價ニ提供仕候
店內備付ノ商品ハ全部特價
御贈答用ノ銀鍍金銅器類有之候
○二十日以後ハ日曜休業不仕候
京城本町　株式會社　大澤商會京城支店

米國製U.S紙ケース及同用二號
雷管ハーリントン自働拳銃
新荷着仕候間御用命願上候

鷄林商事株式會社

曙（おけぼの）

第二十七回　徳田秋聲　（挿畫）近藤紫雲

妻の實家（3）

賑やかに、さうして久振りに皆なで御飯を食た後で、辰衛は隆夫と伴立つて散歩にと出て行つた。氣が霽いたら玉川邊まで行つて見ようと、辰衛は言つて出た。夜になつたら主人も歸らうから、是非歸りには寄つて與れと云つた田鶴子に、辰衛は、『ね、有難ふ。面白くなかつたら直ぐ引返して來ますよ。しかし、ひよつとしたら遲くなるかも知れませんから、若し然うだつたらどうぞ宜しく仰言つて下さい』そして、妻の絢子に『お前も久振りだから、お父さんにも會つてね、二三日ゆつくり遊んで來たらどうだ。邸の方は可いから』と、氣嫌好く言つた。

絢子は願つてもないこと、嬉しかつたが、然も出來ないので『でも勇さんに悪いから』と云つたが、良人が無理に然う言ふので『ぢやあ、今晩だけお暇を戴きますわ』と言つた。『然うした方が可い。ぢやお母さん、何分お頼みします』然う言つて、辰衛は隆夫と一緒に元氣好く出て行つたのであつた。

母と二人になると、絢子は漸くほつとしたような氣分になつた。初めて實家へ來てゐるように、のんびりした氣になつた。隔てなく、打解けてはゐるものゝ、良人がゐる間はどうしても良人があつての自分と云つたようなところがあつて、何となく氣詰りでならなかつた。別に遠慮すると云ふことはないのだけれども、母の慈愛に縋つて甘え込む子としての我儘を、どうしても良人に對して出すことは出來なかつた。殊にもの堅い大家の嫁として、嚴格な父の子として、辰衛の妻になつた絢子は、無責任な若い者同志の婦關係に見ろような、ある馴々しさを、どうしても現はすことは出來なかつた。

『まあ、ほんとにお嬢さんは他人行儀ですことね。もつと甘へれば可しいのに、旦那さまへ』まだ貞子が生れない時分、乳母のお篠がそんなことを言つて笑つたことがあつた。

『まあ、乳母は……厭な乳母ね。私そんなことは出來ないわだつて、極りが悪いもの』絢子は顔を赧めにして、俛いたものだつた。そして、直ぐ其の後から何となく滿たされないような或る淋しみを感ずるのだつた。此頃も丁度そんな氣が、絢子はしてゐるのであつた。良人の愛は以前より濃くなつてゐれ、少しも冷淡ではなかつた。殊に外國から歸つて以來は、前よりも一層自分に愛を傾けてゐるようにさへ思はれた。自分として、も、少しも不足はなかつた。それなのに、どうしたのか、一向に絢子の氣は晴れ〴〵しなかつた。殊に則ちあの一件から、更にお須磨が來てからは、どうも彼女の心が面白くなかつた。今まで明るかつた彼女の心に、何かしら暗い影がさしたように思へて來た。それをお須磨のせゐにばかりして了ふのは、間違つてゐるけれども、お須磨が來てからさう云ふようになつた自分を思ふと、絢子はどうしてもお須磨といふものを、自分の頭から引離して考へることは出來なかつた。それにお須磨が辰衛と馴々しく口を利いたり、自分の前で辰衛の話をしたりするのが、何となく面白くなかつた。辰衛の方に別にどうといふ衝動の現れはなかつたけれど、絢子として、はそれが何となく氣懸りであつた。それが女のもつ嫉妬だらうとは、自分でも氣が附いてゐるけれども、左に右お須磨によつて受ける自分の心持が、そんな風になつて來ることを、彼女はどうすることも出來なかつた。

さう云ふ絢子の暗い心持も、

歌壇復活

京日歌壇も暫らく中絶して居るうちに大正九年はもはや暮れに近くなりました。本社は大正十年を目の前にして、茲に京日歌壇を復活し朝鮮に於ける歌壇振興の一時期を畫したいと存じます。而して從來は矢橋小葩氏が専ら其の選に當つて居ましたが、社務多忙のため小葩氏は今回任を辭しましたから本社は東都文壇に重きをなせる

尾上柴舟氏

に其の選を依嘱することゝし既に同氏の快諾を得ました。同好諸子の奮つて御投稿あらんことを。尚ほ課題は別に設けずその時々の詠草を歡迎し用紙は葉書に限ります

母に會ふと、母と二人になると不思議に拭ひ取られたように氣輕くなるのを彼女は感じた。『お前、顔色が勝れないけれども、どうかしたんぢやない？體でも悪いのぢやないの』茶の間へ入ると、田鶴子は娘の顔を熟と見て今朝から氣になつてゐたことを訊ねた。母娘は初めて屈託のない顔を見合せた

川柳　劍花坊選

女

佳句　大邱　邱花坊

モリ、リチユコな。唐人知つてゐる

評、唐人の二字、古くて新しい。

同　無名氏

帝劇の女神串から物を食ひ

評、すこし無理なところも有るが修辭に苦心のあとが見える。

同　仁川　詩腕樂

ラシヤメンへさア靴帯縫つてゐる

評、場所が眼前に髣髴してゐる。

たまには叱つて下さいと新世帯

評、これぞ川柳の醍醐味といふ。

日蓄の蓄音器

日蓄のニツポノホン蓄音器の代表品として知られたる日蓄のニツポノフオンは高級附屬品として初春の意として目下賣行盛なりと新年賣出しの音譜も例に依り面白きもの多く目下日蓄商會にて、販賣しつゝあり

説ちる

△私が京城本町三丁目の福引で金券一當つたので品物を買ひに行つたら其店で之れは一割引で渡す規約だと云つて一割引きました（何故ゝ郎）△二十日京城俱樂部で局長や一課長三課長の前で試驗云々を申しました者がありましたがあの事に付ての罪は生徒にあります先生の熱心な論議の時騒いだものが一人ある其の人は騒ぐのが習慣になつてゐて球部の時にそろばんを机に投げつけ奇聲を發したので先生からしかられた事も有ります△某小の出つて來る處は他にあると思ひます（イーチユンチブ生）△小生昨年十月中宅地買入登記…諸方が某代書人に依頼致し置け共未だ登記出來ざれば何故斯く延引するか問合せに本件は時下登記ではないとのことにて困りますが何とか手易く登記の出來る方法は御存じの方は紙上を以て御教示願ひます（花原宣の者）

新刊紹介

△同源（十二月）日鮮關係を研究するを目的とする純學術雜誌で日鮮兩民族同源論梗概（喜田博士）有史以前の日鮮關係（鳥居龍藏）同本異末（鮎貝房之進）江戸時代朝鮮信使の中瀬野馬熊）朝鮮信使の使用した日本地圖（荻山秀雄）等を掲げてある（一圓京城太平通京城日報社内同源社）

△十三人（十二月）三十錢東京谷區麹町共社

△活東之文化（十二月）一圓二十錢大連市大廣場共協會

△實業之朝鮮（十二月）五十錢朝鮮群山榮町通共社

△婦人世界（新年號）高島、宮川近所、小倉諸氏 戀愛に關する所論や數十名家の愛された經驗、愛しき…險其他新作家の創作又は戀愛觀、愛情觀な網羅してに空前の活躍振を示してゐる一號を人の好讀物（一圓東京京橋南鍋町町實業の日本社）

△講談俱樂部（新年號）神秘小説、人歴史小説、寫眞小説、其他實話物、人情物、探偵物新講談、漫畫に至るまで本誌獨特のものばかり半成の趣き…らしい出來榮にてある（一圓東京本郷區駒込坂下町講談社）

△面白俱樂部（新年號）吹雪の夜（綺堂）隣の女房 小劍 明治の二疑獄（劍花坊）其他探偵歴史物…小説漫畫物語漫話等面白い讀物のみ、家庭向雜誌中の異彩（八十錢東京本郷區駒込坂下町講談社）

△朝鮮公論（十二月）西には協東には聯盟、亞細亞に於ける新興國、朝鮮人騷擾側面觀、米より觀たる兩港の將來、其他說苑に地方紹介に好個の創作に何れも多趣味の記事に満ちて生に（五十錢京城太平通共社）

△少年俱樂部（新年號）童話、滑稽奇談、傳說、武勇傳等少年の趣味を唆るべき讀物に充ち附錄『卓上ベースボール』は奇拔目新（四十五錢東京本郷駒込大日本雄辯會）

ホーカーオ…の好評

最近東京神田ホーカー化粧品本舗成瀬太郎商店より發賣された「ホーカーオナー」は世界各國より原料を粹な集め多年苦心の結果創製した純クレームで肌を滑かにし、色艶を美しく化粧下として、粉のノリを好くし肌アレを防ぎ、紳士の髭剃後に塗けて剃刀傷に貼き、お子供衆の肌を丈夫にする等種々の特色があり品質の優秀、芳香の絶佳、全く今までの何店のクレームより遥かに優れた逸品といふので非常な好評を博し東京では目下素晴らしい勢ひで新流行を作つて居ります。尚同店より發賣さるゝホーカー波、ホーカー白粉、ホーカーポツト、ホーカークレーム白粉、ホーカー美髮液と共に詰合せた進物箱は歳暮用、年玉用の贈答品として盛んに各家庭に使はれて居ります

鷲くべき學術の進歩
容易に出來る不老長壽法

人間が病に罹つたり又は年を重ねてから元氣が衰へて行くと言ふのはプラスマの減損に因るのである。プラスマと言ふものは人體の細胞中に在る健康の素とも言ふべき大切なるものである。プラスマが減るから人は弱くなつたり衰へたりする。若し是を補ふものが有れば決して老衰もしなければ病にも罹らない、其の證據には老人や病人の身體を試驗して見ると其の細胞中にはプラスマは少く、死んだ人の身體には絶無である。是を見てもプラスマが人體の生命の素と言ふ事が能く解るであらう。故に人間の身體に無くてはならぬプラスマを常に補給することが出來るならば、醫者の厄介にもならずに働く事も出來やうし又六七十になつても三四十の人と同じ樣に元氣よく活動して行かれる譯である。それが爲之迄此の學說に基いて多くの研究が試みられたけれど此のプラスマの完全なる補給方法は容易に發見されず長い間學者間の問題として殘されたのであつたが學術の進歩は遂に此の問題を解決して驚くべき發見を齎したのである。

夫は坪井工學博士の熱心なる研究と努力とに依つて發明された滋養強壯劑「活力素」なるものである。此の新劑を常に用ひて居れば自然とプラスマを補給するから病者は其の全治を早めると同時に健康を増やし、更に壯者はその健康を維持するは勿論年を取つても氣力は衰ふことなく髪の毛は黒より齒に至るまで殆ど壯年の時と變らぬと云ふ所に不老不死と稱する所以なる不思議の靈藥である。博士は發見の初めに當り之を先づ自身に試みて研究せられた。博士の實驗に依れば最初は何等の變化をも認めなかつたが日を經るに伴れて驚くべき効果を感じられたのである。

先づ腸の働きが敏活になり、從て腸の消化吸収が盛んになり、從つて健康の狀態が鞏固となつた。殊に精神の爽快さを覺えたのである。從つて疲勞倦怠も何時しか大なくなり活動能率の著しい増加を來たしたのであつた。また消化を助ける結果食慾の増進を見便秘をゆるめ便通を正しくする等種々の成績を示したので博士自身もその偉大なる効験に驚かれる程であつた。

そこで是を二三の友人に分與して試用させたが老人は素より婦人小兒に到るまで全く『活力素』の活力諸たる未曾有の効驗を賞揚して已まなかつた。かくて希望者が多くなるに付け、遂に之を世の人に頒めたならば國家に益を與ふる事多大なるものと考へられ、此處に一般の爲めに廣く頒つべく廣告を掲載されたのである。

斯様な世にありふれた賣藥の如くに誇大なる廣告を用ひて顧客を集めることは堅く禁ぜられた。

◆活力素は東京市京橋區五郎兵衛町五番地活力商會（電話京橋一五九九番振替東京三二〇八六）で一ケ月分三十九入一圓八十錢、定價は一ヶ月分十五錢、其他十二圓の家庭用瓶及二十三圓の醫家用特用瓶もある。

神經の趣旨の下に調製されたる博士としては臨床の事と思ふ。

母親に御注意
早くオシメを捨てよ

赤ん坊ばかりかは常人の身になつてもオシメは第一洗濯が容易でない。それだから女中も赤ん坊のある家庭には永居が出來ぬ。殊にこれから寒い冬の中は特別である。それでもロとこそ言はね氣持の悪い事は非常のものであらう。殊にオシメは衛生上から見ても甚だ悪い。それで永年研究して出來たのが當會社製の大九式小便袋である、これは恰もスルメの如き平たいゴム製の袋であるから股の間に入れて置いて少しも邪魔にならず。小便をすればそれがふくれて二合位もはいる。入口に辨があつて一度はいつた小便は逆に出てこない所が妙な仕掛になつて居るが小便を捨てる時は一寸ネヂを捻るとすぐ出て仕舞ひ洗濯の手數は入らず、永く使用にも堪える。衛生的で又經濟的である。殊に赤ん坊をつれての外出には妙である。定價送料共一個壹圓八十五錢二個三圓四十五錢ハガキにて御注文次第代金引替にて送る御注文の節は男用か女用か申添乞ふ

東京市神田區表神保町一〇　日本製藥株式會社　電話神田三一二〇番　振替東京三一三四番

△電信宣傳金員入人　京城南大門通一ノ二十一

中風病

中風病に困らずとも神經痛、脚氣及、文、その病に困難したる諸人が……驗よりも……新聞名記入ハガキにて照會……方に……報し一千を……題字の發……代進呈す……發賣所　石浦町九九番……

防寒羅紗マントの破格廉賣
破天荒の値下提供品

雨降れ！風吹け！雪降れ！これさへあれば安全第一

△無地裏　五圓　六圓五十錢　七圓五十錢　八圓五十錢　九圓　十一圓半　十四圓　四十三圓半
△兩毛　同上
△縞裏　七圓　九圓　十圓　十一圓　十二圓　十三圓
△ネル裏　七圓半　九圓　十一圓　十二圓　十三圓　十四圓

將校マント　二尺五寸　三尺三寸　三尺五寸　三尺七寸　四尺

レインコート　ラバーコート　十四圓　十六圓　四尺二寸　十三圓　四尺七寸

縞裏二重トンビ　三十六圓　四尺七寸
縞裏モジリ　二十三圓

色合は霜降と紺茶の二種寸法は全部曲尺　新毛羅紗綿裏附一枚に付三圓增し代金引替小包に送料内地十六錢朝鮮二十五錢

前金不用ハガキ注文次第發送す

東京市本郷區本郷三丁目十七番地　山口商店　振替東京五三四八七番　電話小石川四〇五三番（二枚以上注文は割引）

粗悪品御注意あれ　當店見本と比較あらふ　地質見本を特に進呈す　ハガキにて申込あれ　當店は多年教習し來れる和洋用防寒防水地質を一手に引受けて縫製し其他品切れの心配なく本年は更に技術の進歩一層の優良品を提供し其價は新流行の代價で値段は他店と比較せば大…する所以なり　御申込で其新聘前より四へ十八町目

内科　腸病　石川醫院

京城本町一丁目　電話一三九番

灘酒の模範　純良無比

石崎株式會社釀

お化粧の順序　カテイ石鹸　クラブ洗粉　クラブクリーム　クラブ白粉　クラブ頬紅　クラブ粉白粉　美人

家庭石鹸　家庭石鹸

カテイ石鹸

中山太陽堂謹製品

顔のアレぬ　カテイ

生地の美を増し肌を荒さぬ……カテイ石鹸

日本で初て出來た世界的の……カテイ石鹸